

# 令和元年・2年度 保幼小連携・接続推進支援事業

## 越知町 実践報告

### 1. 趣旨

高知県では、平成30年2月に策定した「高知県保幼小接続実践プラン」において、新小学校学習指導要領・幼稚園教育要領等で示された幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（以下、「10の姿」という。）を踏まえた保幼小連携・接続の取組の進め方を示し、研修会や個別の訪問支援を行うなど、各地域の取組を支援してきた。その結果、10の姿を踏まえた保幼小連携・接続の取組への理解が進むとともに、接続期カリキュラムの作成率も増加している。しかしながら、県全体での取組には至っておらず、幼児期の特性を踏まえた保育実践や10の姿を踏まえた授業展開になっていない園や小学校がある。

このため、県教育委員会から、先進的に推進してきた越知小学校区が「保幼小連携・接続モデル地域」の指定を受け、新学習指導要領に示された保幼小接続の実現に向け、モデル地域の越知町教育委員会を中心に連携し、モデル地域内の越知保育園、越知幼稚園と越知小学校の教職員の連絡会や幼児と児童の交流活動、接続期カリキュラムに基づく実践力向上を図り、その研究の課程や成果の普及を通して、高知県の幼児と児童の資質・能力の育成を図る。

### 2. 事業内容

- (1) 越知町教育委員会が主体となった保幼小連携・接続の推進体制の整備
- (2) 幼児・児童の発達や指導方法等について理解を深めるための教職員の連絡会と、幼児と児童の交流活動の実践研究
- (3) 10の姿を踏まえた接続期カリキュラムの作成と、それに基づく幼児期の教育・保育実践と小学1年生の授業実践の研究

### 3. 指定期間

令和元年度から令和2年度までの2年間

### 4. 保幼小連携・接続の充実に向けて

- (1) 越知町教育委員会が主体となった保幼小連携・接続の推進体制の整備
- (2) 保幼小連携推進部会を年間6回以上開催
- (3) 幼児と児童の交流活動の充実
- (4) 先進地視察訪問による教職員研修

### 5. 越知の教育

越知町の教育6本の柱にある「保幼小中連携教育」の推進では、0歳から15歳までの子どもたちの発達や学びを、円滑に接続する取組を連携・協働して行う。「就学前の子どもたち」の教育の充実・保育環境の整備では、保育者の教育力の向上を図り、子どもの「生きる力」の基礎を育てていく。学びと育ちを支える「子育て支援」の充実では、保護者への啓発活動や、厳しい環境にある子どもを学びの場へいざなう。幼児教育の充実のためには、子どもたちの知・徳・体の調和のとれた健全な成長が必要となる。生涯にわたる人格形成の基礎をつちかう重要な時期である乳幼児期に、専門的で高度な知見に基づいた、質の高い教育・保育の実践が重要であると考えられる。

# 越知町の教育6本の柱

- ① 「保幼小中連携教育」の推進
- ② 「学校教育」の充実・学校教育環境の整備
- ③ おち家の「チーム学校」の推進
- ④ 「就学前の子どもたち」の教育の充実・保育環境の整備
- ⑤ 学びと育ちを支える「子育て支援」の充実
- ⑥ 「安心・安全」で質の高い教育環境の実現

## 6. 研究テーマ

これからの社会を展望すると、自立した人間として主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材の育成が求められている。越知町は、町の発展は人づくりと捉え、第2期越知町教育大綱、第2期越知町教育振興基本計画に基づき、おち家（行政・学校・家庭・地域）が協働して、教育の振興を図っていきたい。「越知を愛し世界に羽ばたく、心豊かでたくましく創造性に満ちた子どもの育成 ～人間力を育てる～」の基本理念のもとに各園・学校の研究テーマを設定している。

**越知を愛し世界に羽ばたく、心豊かでたくましく創造性に満ちた子どもの育成**  
～人間力を育てる～

### 越知町教育委員会

- ・生涯を通じて学ぶ姿勢を忘れず、主体的に自らの生き方を見出し、創り上げていこうとする意欲を持った子どもの育成
- ・あたたかい人間愛に満ち、自然や美しいものに感動する心、正義や公正を重んじる心を大切にする子どもの育成
- ・変化していく社会の中で直面する様々な問題に立ち向かい、自ら未来を切り拓いてゆく、たくましさを持った子どもの育成

### 各園・校の研究テーマ

#### 越知保育園

「学びを支える力となる言語力の基礎を培うためにはどのような援助や環境構成が必要か」

#### 越知小学校

自ら学び、豊かに考える子どもを育む  
～対話を通して、確かな力につなぐ子ども参画型の授業

#### 越知幼稚園

友達との関わりの中で、自分の力でやろうとするための環境構成と援助について

## 7. 本事業の研究目標

自ら学び、豊かに考える幼児・児童の育成  
～保幼小連携・接続における連続性のある指導・支援の在り方～

## 8. 研究目標設定の背景

対話を通して、主体的に活動できる子ども参画型の体験や教育活動を展開すれば、自ら学び、豊かに考える子どもを育むことができるであろう。

## 9. 目指す子ども像と育てたい子どもの力・姿

# 越知町の目指す子ども像

知：● 徳：● 体：●

### 越知町教育委員会

- ・生涯を通じて学ぶ姿勢を忘れず、主体的に自らの生き方を見出し、創り上げていこうとする意欲を持った子どもの育成
- ・あたたかい人間愛に満ち、自然や美しいものに感動する心、正義や公正を重んじる心を大切にする子どもの育成
- ・変化していく社会の中で直面する様々な問題に立ち向かい、自ら未来を切り拓いてゆく、たくましさを持った子どもの育成

#### 越知保育園

- ・健康で安全な生活ができる子
- ・友達を大切にし、思いやりのある子
- ・よく見、よく聞き、よく考えて行動できる子

#### 越知小学校

- ・人を大切にする思いやりのある子ども
- ・笑顔で楽しく活動できる子ども
- ・考えて行動する子ども
- ・自ら学ぶ子ども
- ・最後までやり抜く子ども
- ・体をきたえる子ども

#### 越知幼稚園

- ・健康で明るい子
- ・自分で考え行動する子
- ・友達と仲良く遊べる子

### 保幼小共通の目指す子ども像

越知町の目指す子ども像は、「越知を愛し世界に羽ばたく、心豊かでたくましく創造性に満ちた幼児・児童の育成」を基本理念としている。

それを基に、保育園・幼稚園・小学校では、園児・児童の実態に合わせて設定されている。

保幼小共通の目指す子ども像として、知にあたる「考えて行動する」、徳の「人を大切にする」、体では「健康」であることがわかる。これらの共通のキーワードから、保幼小接続期における育てたい子どもの力・姿の目標を決めていくことにした。

また、育てたい子どもの力・姿では、幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿から、越知町が重点課題と考える知・徳・体3つのカテゴリーに分類して、具体的に設定している。基本的な生活習慣・健康では、「身の回りのことを自分でする」、「体を動かし、元気に遊ぶ」、「食べ物に親しみ、進んで食べる」、人とのかかわりでは、「協力して遊びや活動に取り組む」、「思いやりをもって行動する」、「友達の話をよく聞く」等、学びへのつながりでは、「自然や身近な事象に興味関心をもつ」、「新しい考えを生み出す喜びを味わう」、「さまざまな表現を楽しむ」、「文字や数など、遊びを通して親しむ」とした。小学校入学当初の4・5月までに育てたい力や姿の実現に向けて、1年間の活動内容と成長段階を確認しながら、接続期の見通しを明確に示すための接続期カリキュラムを作成して、保幼小連携・接続推進支援事業の取り組みがスタートした。

# 育てたい子どもの力・姿

知：● 徳：● 体：●

## 基本的な生活習慣・健康

- ①身の回りのことを自分でする
- ①体を動かし、元気に遊ぶ
- ①食べ物に親しみ、進んで食べる

## 人とのかかわり

- ③協力して遊びや活動に取り組む
- ④思いやりを持って行動する
- ⑨生活に必要な言葉を身に付ける
- ③友達の話をよく聞く
- ④きまりを守ろうとする

## 学びへのつながり

- ⑦自然や身近な事象に興味関心をもつ
- ⑥新しい考えを生み出す喜びを味わう
- ⑩さまざまな表現を楽しむ
- ⑧文字や数など、遊びを通して親しむ

令和2年度には、松蔭大学教授 山下文一先生の指導のもと、東京都中央区立晴海幼稚園・月島第三小学校へ視察研修を行った。研究1年目には、環境を通して行う教育から教科教育への円滑な接続（短期的）で研修を進めてきたが、発達や学びの連続性を視野に入れた円滑な接続（中・長期的）の重要性を学び、幼児期の終わりまでに育てほしい姿を手掛かりに、低学年、中学年、高学年の一定の期間の子どもの学び、生活面から評価し、課題はどこで起こっているのか、その課題解決に向けて、いつから何をどのように取り組んでいくのか計画を立てることができるように設定した。

## 越知町の円滑な接続（中・長期的）R2.4.1～

### 目 標

自ら学び、豊かに考える幼児・児童の育成  
～保幼小連携・接続における連続性のある指導・支援の在り方～

### 研究仮説

対話を通して、主体的に活動できる子ども参画型の体験や教育活動を展開すれば、自ら学び、豊かに考える子どもを育てることができるであろう。

### 目指す子ども像

発達や学びの連続性  
↓

- 3歳児 ①自分の思いを言葉や態度で相手に伝えようとする子
- 4歳児 ①自分の思いを相手に伝えたり、相手の思いにも気付くことができる子
- 5歳児 ①自分の思いや考えを、相手にわかるように伝えようとする子
- 低学年 ①自分の考えをもち、対話を通して更に深く考えようとする子
- 中学年 ①対話を通して自分と他者の考えの違いに気付き、認め合いながら考えを広げることができる子
- 高学年 ①対話を通して他者や自分等と向き合い、多様な考えから一人ひとりが学びを広げ、豊かに考えることができる子

## 越知町の円滑な接続(中・長期的) R2.4.1～

### 目 標

自ら学び、豊かに考える幼児・児童の育成  
～保幼小連携・接続における連続性のある指導・支援の在り方～

### 研究仮説

対話を通して、主体的に活動できる子ども参画型の体験や教育活動を展開すれば、自ら学び、豊かに考える子どもを育むことができるであろう。

**保育園  
幼稚園** 子どもが自ら人や環境に関わりながら自発的に活動し、様々な経験を積むことで感じた思いを周囲に発信することができるような保育をすれば、研究課題は達成されるであろう。

**低学年** 学びの芽生えから自覚的な学び期まで、一貫して日常生活における対話活動を重視する教育活動をすれば、主体的に学ぶ児童が育つであろう。

**中学年** 活動の中で、子どもの思いや考えを伝え合うことができる場の設定をすれば、本研究課題は達成されるであろう。

**高学年** 他者の思いや考えを聞き入れる態度を重視した対話活動を展開すれば、自ら考え主体的に学ぶ幼児・児童が育つであろう。

## 越知町の円滑な接続(中・長期的) R2.4.1～

### 目 標

自ら学び、豊かに考える幼児・児童の育成  
～保幼小連携・接続における連続性のある指導・支援の在り方～

### 研究仮説

対話を通して、主体的に活動できる子ども参画型の体験や教育活動を展開すれば、自ら学び、豊かに考える子どもを育むことができるであろう。

### 目指す子ども像を実現するために

#### ・学習スタンダードをベースに子ども参画型の授業を行う。

全校で学び方を統一した授業をベースに、子どもが見通しをもち、より主体的に学びに参画できる授業づくりを行うことで、各教科の見方・考え方にせまる確かな学力を身に付けることができる。

#### ・各教科において「対話的な活動」を取り入れる。

各教科等の活用・発展学習の場として「てつがく」の学習を導入し、対話を通して他者や自分等と向き合うことで、他者を認め、多様な考え方に触れるとともに、より一人ひとりが学びを広げ、豊かに考えを深める。

#### ・総合的な学習の時間や体験的な学習の充実を図る。

習得した基礎・基本の知識や技能を生かしながら、他者や自分自身との対話や自然等とのつながりの中で、自分の考えを深めたり、広めたりすることができる。

## 10. 研究体制

市町村（学校組合）教育委員会名		越知町教育委員会	
指定地域	越知町	園名	越知保育園・越知幼稚園
		学校名	越知小学校

令和元年度 推進組織

委員			
所属	職	氏名	組織の役割（委員長等）
越知小学校	学校長	竹内 満	委員長
越知小学校	教頭	大野 和代	
越知小学校	教諭（小1担任）	松木 みなみ	
越知小学校	養護教諭	堅田 雅代	
越知小学校	教諭	山下 彩香	
越知保育園	園長	田村 香	
越知保育園	保育士（年長担任）	岡本 愛未	
越知幼稚園	園長	須内 富	
越知幼稚園	教諭（年長担任）	山脇 彩乃	

令和2年度 推進組織

委員			
所属	職	氏名	組織の役割（委員長等）
越知小学校	学校長	竹内 満	委員長
越知小学校	教諭	中澤 小夜	
越知小学校	教諭（小1担任）	井上 みなみ	
越知小学校	養護教諭	飯田 優里	
越知保育園	園長	田村 香	
越知保育園	保育士（年長担任）	北平地 みゆき	
越知幼稚園	園長	須内 富	
越知幼稚園	教諭（年長担任）	岡林 美佳	

越知町教育委員会が主体となり、保幼小の連絡・調整・整理など整備を進めてきた。保幼小連携推進部会では、幼保支援課、中部教育事務所にご協力・助言を頂きながら、教職員と一緒に学び合える合同研修会を設定した。

令和元年度のスタートカリキュラムの作成演習では、幼児期に親しんできた遊びや活動を取り入れ、単元配列表から考えた教科との関連を生かして編成することを心掛けた。交流活動計画では、保幼小それぞれの「ねらい」を明確にし、交流活動指導案を一緒に作成することで、組織全体の取組として意識を高めることができた。

活動後の振り返りでは、越知町の目指す子ども像、育てたい子どもの力・姿に近づいているかどうか現状の把握、次の交流活動につなげていくことを共有した。

○越知町教育委員会（事務局）

- 連携する保育園・幼稚園・小学校との連絡、調整、整理
- 保幼小連携推進部会での協議内容や研修会の設定、準備
- 接続期カリキュラムの進捗状況の把握、分析
- 先進地視察研修の計画、報告書
- 接続・状況シート分析、アンケート実施計画、集計
- 保幼小連携・接続推進支援事業実施報告書作成



○越知保育園（園長、年長担任）

- 公開保育、実践レポート
- 交流活動取組案作成、交流活動実践
- 保育者体験研修
- 5歳児後半の年間指導計画編成
- 接続期カリキュラム編成

○越知幼稚園（園長、年長担任）

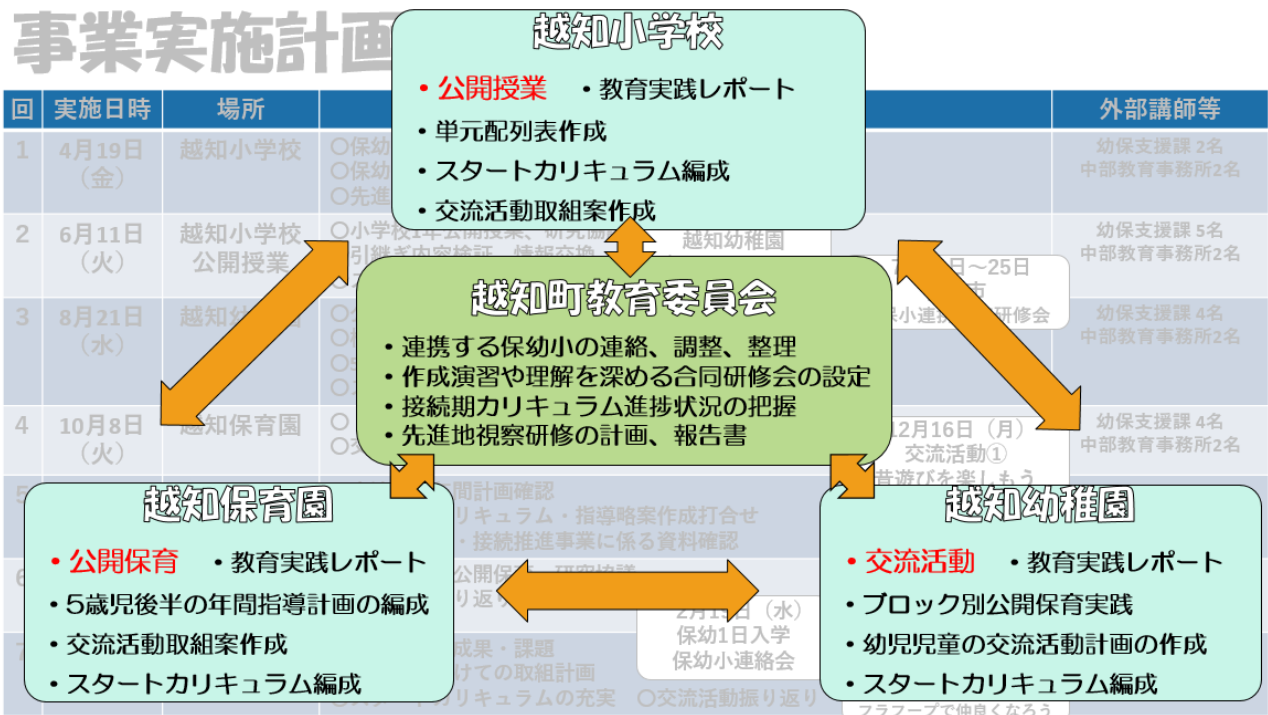
- 公開保育、実践レポート
- 交流活動取組案作成、交流活動実践
- 5歳児後半の年間指導計画編成
- 接続期カリキュラム編成



○越知小学校（校長、1年担任、研究主任、養護教諭）

- 公開授業、実践レポート
- 交流活動取組案作成、交流活動実践
- 保育者体験研修
- 単元配列表・スタートカリキュラム作成
- 接続期カリキュラム編成

# 事業実施計画



## 11. 年間活動計画（令和元年度～令和2年度）

回	実施月日 (曜日)	場所	主な内容 (公開授業研究の実施)	外部講師等
令和元年度				
1	4月19日 (金)	越知小	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保幼小連携・接続推進事業の概要説明</li> <li>○各園・小学校における保幼小連携・接続の充実について共通確認・協議</li> <li>○保幼小接続期カリキュラム部会年間計画の確認</li> </ul>	幼保支援課 中部教育事務所
2	6月6日 (木)	越知幼	<ul style="list-style-type: none"> <li>○越知幼稚園公開保育</li> <li>○研究協議</li> </ul>	幼保支援課
3	6月11日 (火)	越知小	<ul style="list-style-type: none"> <li>○越知小学校公開授業 PM</li> <li>○研究協議</li> <li>○実践研究の情報共有・成果・報告</li> <li>○引継ぎ内容検証・情報交換</li> <li>○スタートカリキュラムの見直し</li> </ul>	幼保支援課 岡村 AD 中部教育事務所
4	8月21日 (水)	越知幼	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公開授業チェックシート結果報告</li> <li>○横浜市幼保小連携教育研修会報告</li> <li>○5歳児後半指導計画説明</li> <li>○スタートカリキュラム作成演習</li> <li>○情報交換</li> </ul>	幼保支援課 中部教育事務所
5	10月8日 (火)	越知保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「保幼小連携・接続」に関するアンケート分析</li> <li>○年間交流計画作成演習</li> <li>○情報交換</li> </ul>	幼保支援課 中部教育事務所
6	10月21日 (月)	越知小	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交流活動計画確認</li> <li>○スタートカリキュラム・指導案作成打合せ</li> </ul>	—
7	1月21日 (火)	越知保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○越知保育園公開授業 AM</li> <li>○実践研究の情報共有・成果・報告</li> <li>○これまでの成果・課題分析</li> </ul>	幼保支援課 中部教育事務所
8	2月19日 (水)	越知小	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保幼一日入学</li> <li>○交流活動</li> <li>○保幼小連絡会</li> </ul>	—
9	2月27日 (木)	越知幼	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実践研究の成果・課題</li> <li>○次年度に向けての取組計画</li> <li>○スタートカリキュラムの見直し・充実</li> <li>○引継ぎ・連絡会</li> </ul>	幼保支援課 中部教育事務所



令和2年度				
1	4月9日 (木)	越知小	○越知小学校スタートカリキュラム授業研究会延期について確認・協議 ○保幼小連携・接続状況シートの意識調査項目の設定 ○子育てに関する保護者アンケート作成	-
2	5月28日 (木)	越知小	○1年生スタートカリキュラム公開授業「生活科」 ○研究協議・指導助言 ○小堀アドバイザー講演	幼保支援課 小堀 AD 中部教育事務所
3	8月25日 (火)	越知保	○5歳児公開保育 ○研究協議・指導助言 ○山下文一先生講演 [ZOOM 活用]	山下文一教授 幼保支援課 有田スーパーバイザー 中部教育事務所
4	10月12日 (月)	越知幼 町民会館	○5歳児公開保育 ○研究協議・指導助言 ○保幼小合同研修会 ○山下文一先生講演	山下文一教授 幼保支援課 有田スーパーバイザー 中部教育事務所
5	12月1日 (火)	越知小	○交流活動計画・日程確認 ○保幼小連携・接続推進シンポジウムに向けて ○令和3年度保幼小連携の取り組み	幼保支援課 小堀 AD 中部教育事務所
6	12月15日 (火) [1月22日に延期]	越知小	○交流活動① ○振り返り	幼保支援課 小堀 AD、北村 AD 中部教育事務所
7	1月12日 (火) [臨時開催]	越知小	○保幼小連携・接続推進シンポジウム打合せ	-
8	1月18日 (月)	越知小	○交流活動② ○振り返り	幼保支援課 小堀 AD、和田 AD 中部教育事務所
9	2月17日 (水)	越知小	○交流活動③ ○振り返り ○保幼小連絡会	幼保支援課 中部教育事務所
10	2月26日 (金)	越知小	○交流活動振り返り ○実践研究の成果・課題分析 ○次年度年間計画 ○スタートカリキュラムの見直し・充実に向けて	幼保支援課 中部教育事務所

※外部講師（委員以外の参加者：県教育委員会指導主事、他地域の教職員等）

# 令和元年度 事業実施計画

回	実施日時	場所	主な内容（公開授業研究の計画）	外部講師等
1	4月19日 (金)	越知小学校	○保幼小連携・接続推進事業概要説明 ○保幼小接続期カリキュラム部会年間計画確認 ○先進地視察訪問検討	幼保支援課 2名 中部教育事務所 2名
2	6月11日 (火)	越知小学校 公開授業	○小学校1年公開授業、研究協議 ○引継ぎ内容検証、情報交換 ○スタートカリキュラムの考察	幼保支援課 5名 中部教育事務所 2名
3	8月21日 (水)	越知幼稚園	○ブロック別研修会公開保育振り返り ○公開授業チェックシート結果報告 ○横浜市幼保小連携教育研修会報告 ○スタートカリキュラム作成演習 ○5歳児後半の年間指導計画説明	幼保支援課 4名 中部教育事務所 2名
4	10月8日 (火)	越知保育園	○「保幼小連携・接続」に関するアンケート分析 ○交流活動年間計画作成演習	幼保支援課 4名 中部教育事務所 2名
5	10月21日 (月)	越知小学校 [臨時]	○交流活動年間計画確認 ○スタートカリキュラム・指導略案作成打合せ ○保幼小連携・接続推進事業に係る資料確認	—
6	1月21日 (火)	越知保育園 公開保育	○保育園年長公開保育、研究協議 ○交流活動振り返り	幼保支援課 3名 中部教育事務所 2名
7	2月27日 (木)	越知小学校	○実践研究の成果・課題 ○次年度に向けての取組計画 ○スタートカリキュラムの充実 ○交流活動振り返り	幼保支援課 4名 中部教育事務所 2名

# 令和2年度 事業実施計画

回	実施日時	場所	主な内容（公開授業研究の計画）	外部講師等
1	4月9日 (木)	越知小学校	○スタートカリキュラム授業研究会延期について ○保幼小連携・接続状況シートの意識調査項目の設定 ○子育てに関する保護者アンケート作成	—
2	5月28日 (木)	越知小学校 公開授業	○小学校1年スタートカリキュラム公開授業 ○研究協議・指導助言 ○小堀アドバイザーによる講演	幼保支援課 小堀アドバイザー 中部教育事務所
3	8月25日 (火)	越知保育園 公開保育	○越知保育園5歳児公開保育 ○研究協議・指導助言 ○山下文一教授講演 [Zoom活用]	山下文一教授 幼保支援課 有田スーパーバイザー 中部教育事務所
4	10月12日 (月)	越知幼稚園 公開保育	○越知幼稚園5歳児公開保育 ○研究協議・指導助言 ○保幼小合同研修会 ○山下文一教授講演	山下文一教授 幼保支援課 有田スーパーバイザー 中部教育事務所
5	12月1日 (月)	越知小学校	○交流活動年間計画・日程確認 ○事業実践報告 ○保幼小連携・接続推進シンポジウムに向けて	幼保支援課 小堀アドバイザー 中部教育事務所
6	1月12日 (火)	越知小学校 [臨時]	○保幼小連携・接続推進シンポジウム打合せ ○交流活動②・③取組案確認	—
7	2月26日 (金)	越知小学校	○実践研究の成果・課題分析 ○次年度に向けての取組計画 ○接続期カリキュラム作成	幼保支援課 中部教育事務所

越知町連携教育推進委員会に位置づけられた保幼小連携推進部会（R2は保幼小接続期カリキュラム部会）では、年間計画に沿って実施してきた。令和元年度は、越知幼稚園でのブロック別研修会も連携部会の取組に位置づけ、公開保育を実施した。

先進地視察では、横浜市幼保小連携教育研修会、中央区立月島第三小学校での幼小連携研究発表会に参加し、乳幼児期の教育及び保育の在り方や、子どもの育ちの連続を踏まえた連携教育について理解を深めることができた。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、4月当初に計画していたスタートカリキュラム公開授業の延期や保幼小連携推進部会の縮小、先進地視察を中止せざるを得なかった。

交流活動においても感染症対策の徹底のため、触れ合う距離や会話、時間を制限したり、Zoomを活用したオンラインで実施する試みも行った。そんな状況でも、教育実践の核となる公開保育、公開授業では、研究協議を通して実際の子どもの姿に基づいた話し合いによる共有ができた。

## 12. 保育・教育実践

越知保育園

越知幼稚園

越知小学校

### 13. 交流活動

#### (1) 令和元年度の取組

令和元年 越知町保幼小交流活動①「昔遊びを楽しもう」 2019.12.16				
参加者	活動内容	ねらい		
		幼児（保育園）	幼児（幼稚園）	児童
越知保育園 5歳児 26名 担任・園長 越知幼稚園 5歳児 6名 担任・園長 越知小学校 1年生 24名 担任・養護教諭	生活科で交流 ・1年生が練習してきた昔遊びを教えたり一緒に遊んだりして交流する。	・小学校に親しみを持つ。 ・1年生との交流を通して、憧れの気持ちを持つ。 ・昔遊び遊びを知り、興味を持って取り組む。 ・遊び方を知り、自分なりに工夫して遊ぶ。	・小学校の様子に興味関心を持つ。 ・小学生に教えてもらったり、見てもらったりしながら「昔遊び」を楽しむ。	・園児や児童のお互いの成長に気づき、交流を楽しむことができる。 ・今まで練習をしてきた昔遊びを園児に分かりやすい言葉で教えることができる。
①幼児と児童の姿は、ねらいを達成していましたか。 ・1年生の話や先生の話真剣に聞く姿が見られ、小学校に興味や関心をもつことができた。また、1年生に昔遊びのコツを教えてもらい、自分達も同じようにやってみようとする姿が見られうまくできた時に「すごいね」「上手やね」と言われ嬉しそうにする姿が見られた。 ・こまの紐の巻き方やあやとりなど、説明の難しいものは、実際にやって見せながら年長児が分かるように考えて言葉を添えてやっていた。 ・小学校に行くことや1年生と交流をすることを楽しみにして参加することができた。そのため、活動に積極的に取り組むことができた。 ・昔遊びは難しいところもあったが、1年生と一緒にすることが楽しく、興味を持つきっかけになったと思う。この交流をきっかけに園での遊びにも取り入れてやってみる姿がある。 ・全体的にねらいの達成ができていたと思う。				
②活動内容は、幼児や児童のこれまでの経験や学びを生かして主体的に取り組めるものでしたか。 ・ケンケンパなどはいつも遊んでいる遊びだったので、主体的に取り組み、自分の力を発揮して取り組むことができた。こままわしやおじゃみは少し難しかったようで戸惑う姿が見られたが、1年生が手を取って教えてくれたり具体的にアドバイスをしてくれたので、同じようにやってみようとする姿が見られた。 ・難しい側面もあったが、前年度に経験した遊び（こま回し・あやとり・けんけんぱ・おじゃみ）もあり、思い出して取り組んだり、初めてのこと（まりつき）にも1年生を見ながら主体的に取り組むことができていた。				
③保育者と小学校教員の幼児と児童への関わりは適切でしたか。 ・いつもと違う活動に戸惑い緊張している子どもには、様子を見守り必要な時は一緒に遊びながら1年生との遊びに入りやすい雰囲気作りをする。 ・1年生が年長児の様子を気にかけて、声をかけたり手をつないで誘ったりする姿が見られたので、その姿を認め、一生懸命取り組んでいるところを子ども達にも気付くような言葉をかける。 ・各コーナーに分かれて子ども達の補助をしたり、援助がいりそうな子どもやグループにそれぞれの保育者や教員が声を掛けたりすることで、スムーズな運営ができたと思う。 ・1年生と園児の交流が楽しく、お互いに親しみがもてるような仲立ちを心掛けた。				
④実施後に幼児や児童の活動や言動（姿）に変化はありましたか。 ・交流後、けん玉やこまを用意すると「1年生は、こんな感じでしよった」と小学校で経験した遊びを園でも取り入れてやってみようとする姿が見られた。 ・活動後の振り返りを体験したことで、発表の仕方や人の話を聞く時の態度などがわかり、1年生の真似をして友だちの頑張っているところやところを見つけて自分なりの言葉で表現しようとする姿が見られ出した。				

令和元年度 越知町保幼小交流活動②「おもちゃフェスティバル」 2020. 2. 19

参加者	活動内容	ねらい		
		幼児（保育園）	幼児（幼稚園）	児童
越知保育園 5歳児 25名 担任・園長 越知幼稚園 5歳児 6名 担任・園長 越知小学校 1年 24名 2年 32名 担任・養護教諭	1日入学で交流 ・2年生が作成したおもちゃで「おもちゃフェスティバル」を開き、一緒に楽しく遊ぶ。	・小学校に親しみを持つ。 ・1年生や2年生との交流を通して、親しみや憧れの気持ちを持つ。 ・1年生になることを楽しみにする。 ・手作りのおもちゃの遊び方を知り、ルールを守って遊ぶ。	・2年生の手作りおもちゃと一緒に遊んだり、やり取りをしたりして1年生や2年生とかかわって遊ぶことを楽しむ。 ・1年生との交流を楽しみ、入学への期待を高める。	1年生 ・園児を連れて、ルールを守り楽しく遊ぶ。 ・2年生になる自覚をもち、園児に積極的に関わる。 2年生 ・上級生として気配りや分かりやすい説明を行う。 ・園児や1年生に積極的に関わり、交流する。

○幼児と児童の姿は、ねらいを達成していましたか。

- ・小学校での活動ということもあり、期待を持って参加できていた。校内を巡ることで4月から過ごす環境を見ることができ、1年生になることを楽しみにする声が多く聞けた。
- ・1年生、2年生と交流することで、憧れの気持ちを持つことができた。おもちゃフェスティバルでは、2年生が優しくルールを教えてくれたことで遊び方を知ったり、ルールを守って楽しむことができた。

○活動内容は、幼児や児童のこれまでの経験や学びを生かして主体的に取り組めるものでしたか。

- ・1年生の授業に参加して、遊びの中から学ぶことができる人の話を聞くことや、自分の思いを相手に伝えるという事が出来ていた。
- ・おもちゃフェスティバルでは、お店屋さんごっこを保育園で経験していたので、似たような形での参加ができていたと思う。お店に行き、ルールに沿ってゲームを楽しむことができていた。

○保育者と小学校教員の幼児と児童への関わりは適切でしたか。

- ・保育者は初めての経験で不安になったり、困ったりしている子を見つけて安心して参加できるように援助できた。また、小学生とのつながりを考えて、分からないところは小学生に教えてもらうようにきっかけ作りをすることができた。
- ・小学校教員は、分かりやすいように説明をしたり、子どもが主体的にできるように授業を進めていた。

○実施後に幼児や児童の活動や言動（姿）に変化はありましたか。

- ・校内の様子を見学させて頂いたり授業を体験することにより、学校へ行くことに期待をもって過ごすようになった。
- ・自分の意見を言う場が多かったことから、園の帰りの会でも自分の出来事などを積極的に話すようになった。また、「学校行ったら」と、自分が学校へ行ったことを想像して友達と楽しく話をする姿が見られた。

令和元年度 越知町保幼小交流活動③「フラフープで仲良くなろう」 2020.2.25

参加者	活動内容	ねらい		
		幼児（保育園）	幼児（幼稚園）	児童
越知保育園 5歳児 26名 担任・園長 越知幼稚園 5歳児 6名 担任・園長 越知小学校 1年生 24名 担任・養護教諭	体育科で交流 ・春の運動会に向けて、フラフープを一緒に練習してゲームを楽しむ。	・1年生との交流を通して親しみを持つ。 ・体を十分に動かして遊ぶ。 ・集団の中でルールを守ってゲームに参加する。 ・運動会への期待を持つ。	・いろいろな回し方を見たり、自分なりに試したりして、1年生とのかかわりを楽しむ。 ・1年生になることに期待を持つ。	・自分ができるいろんな技を園児の前で自信をもって披露することができる。 ・分かりやすい言葉で、園児にいろんな技を教えることができる。

○幼児と児童の姿は、ねらいを達成していましたか。

- ・先週に引き続いての交流で、前回ペアになった1年生と一緒にフラフープをしたので、親しみをもってかかわり、フラフープを使っているような動きをすることで、十分に体を動かすことができていた。
- ・運動会でフラフープをすることも知り、ゲーム感覚で体験することで楽しみながら参加でき、運動会への期待も膨らんでいたように感じた。

○活動内容は、幼児や児童のこれまでの経験や学びを生かして主体的に取り組めるものでしたか。

- ・フラフープは園にも置いてあり、自由に使って遊ぶことができる環境である。自主的にフラフープを使って遊ぶ子もおり、友達と回す時間を競い合ったり、転がす、スピンをかけるなど工夫して遊びに取り入れていた。
- ・今回の交流でも自分なりに工夫して1年生に見せたり、出来ることを見てもらうことで自信につながっていた。また、1年生が新しい技を見せてくれたことで、やってみたいという気持ちになっていた。

○保育者と小学校教員の幼児と児童への関わりは適切でしたか。

- ・小学校教員は、1年生が主体で交流が進められるようにさりげなく援助をしたり、園児にもわかりやすく補足を説明することができていた。保育者は、子どもの安全を見守りながら参加し、危険なことをしている時には声を掛けていた。また、「わからない」「やってみたい」などの気持ちが見られた時には、1年生に聞いて教えてもらえるような声掛けをしていた。

○実施後に幼児や児童の活動や言動（姿）に変化はありましたか。

- ・園に帰ってくるなり、フラフープを使って遊ぶ子が多かった。出来なかったことに挑戦しようとする気持ちが見られた。5月に運動会があることを知ると、「練習せないかん」と気合が入る姿もあった。
- ・帰りの会では、1年生の授業の形式を子ども達に取り入れて、「言います」と言ってから、自分の意見を言うようになり、小学校への期待や憧れを持って過ごしている。

令和元年度 交流活動①、③活動の様子



(2) 令和2年度の取組

令和2年度 越知町保幼小交流活動計画					
	実施日・場所	参加者	活動内容	ねらい	
				幼児（保育園・幼稚園）	児童
昔遊びを楽しもう	1月22日（金） 9:30～10:15 10:35～11:20 越知小学校	越知保育園 5歳児 13名 担任・園長	生活科で交流 ・1年生が練習してきた昔遊びを教えたり一緒に遊んだりして交流する。	・小学校に親しみをもつ。 ・1年生との交流を通して、憧れの気持ちをもつ。 ・昔遊び遊びを知り、興味をもって取り組む。 ・遊び方を知り、自分なりに工夫して遊ぶ。	・園児や児童のお互いの成長に気付き、交流を楽しむことができる。 ・今まで練習してきた昔遊びを園児に分かりやすい言葉で教えることができる。
		越知幼稚園 5歳児 10名 担任・園長			
実施の流れ ★10の姿共有シート【 ⑨言葉による伝え合い 】					
		9:00頃 幼児が各園を出発		10:15 交流終了	
		9:15 幼児が越知小学校に到着		10:30頃 幼児が各園に到着	
		9:25 幼児がトイレ等をすませる		16:10～ 交流活動振り返り	
		9:30 交流開始（2時間目の授業で実施）			
フラフープで仲良くならう	1月18日（月） 9:30～10:15 越知小学校	越知保育園 5歳児 13名 担任・園長	体育科で交流 ・春の運動会に向けて、フラフープを一緒に練習してゲームを楽しむ。	・1年生との交流を通して親しみをもつ。 ・体を十分に動かして遊ぶ。 ・集団の中でルールを守ってゲームに参加する。 ・運動会への期待をもつ。	・自分ができるいろんな技を園児の前で自信をもって披露することができる。 ・分かりやすい言葉で、園児にいろんな技を教えることができる。
		越知幼稚園 5歳児 10名 担任・園長			
実施の流れ ★10の姿共有シート【 ①健康な心と体 】					
		9:00頃 幼児が各園を出発		10:15 交流終了	
		9:15 幼児が越知小学校に到着		10:30頃 幼児が各園に到着	
		9:25 幼児がトイレ等をすませる		16:10～ 交流活動振り返り	
		9:30 交流開始（2時間目の授業で実施）			
おもちゃフェスティバル	2月17日（水） 10:30～11:20 越知小学校	越知保育園 5歳児 13名 担任・園長	1日入学で交流 ・2年生が作成したおもちゃで「おもちゃフェスティバル」を開き、一緒に楽しく遊ぶ。	・小学校に親しみをもつ。 ・1年生や2年生との交流を通して、親しみや憧れの気持ちをもつ。 ・1年生になることを楽しみにする。 ・手作りのおもちゃの遊び方を知り、ルールを守って遊ぶ。	1年生 ・園児を連れて、ルールを守り楽しく遊ぶ。 ・2年生になる自覚をもち、園児に積極的に関わる。 2年生 ・上級生として気配りや分かりやすい説明を行う。 ・園児や1年生に積極的に関わり、交流する。
		越知幼稚園 5歳児 10名 担任・園長			
実施の流れ ★10の姿共有シート【 ③協同性 】					
		10:00頃 幼児が各園を出発		11:20 交流終了	
		10:15 幼児が越知小学校に到着		11:30 幼児が各園に到着	
		10:25 幼児がトイレ等をすませる		16:10～ 交流活動振り返り	
		10:30 交流開始（3時間目の授業で実施）			
振り返りのポイント ①幼児と児童の姿は、ねらいを達成していたか。 ②活動内容は、幼児や児童のこれまでの経験や学びを生かして主体的に取り組めるものであったか。 ③保育者と小学校教員の幼児と児童への関わりは適切であったか。 ④実施後に、幼児や児童の活動や言動（姿）に変化はあったか。					



① フラフープで仲良くなろう

実施月日	令和3年1月18日(月)
校園名・学年・人数	越知保育園 5歳児 13名 担任・加配保育士・園長 越知幼稚園 5歳児 10名 担任・園長 越知小学校 1年生 29名 担任・養護教諭
活動名	フラフープで仲良くなろう
実施場所	越知小学校 体育館
活動のねらい	<p>年長児 ・小学生との交流を通して親しみや憧れの気持ちを持つ。</p> <p>・集団の中でのルールを守ってゲームに参加する。</p> <p>・体を十分に動かして遊ぶ。</p> <p>・運動会への期待を持つ。</p> <p>児童 ・自分ができるいろんな技を園児の前で自信をもって披露することができる。</p> <p>・分かりやすい言葉で、園児にいろんな技を教えることができる。</p>
準備物	フラフープ コーン ビブス

<活動の展開>

保育所・幼稚園	時間	活動の流れ	小学校
●幼児の活動 ○保育者の援助			◆児童の活動 ◇教師の支援
<p>●1年生の挨拶や発表を通して、今日の活動の流れや学校での活動の様子を知る。</p> <p>●名前を伝え、挨拶をする。</p> <p>○不安に感じる子どもには、活動の流れを具体的に伝え、見通しがもてるような声かけをする。</p> <p>●1年生の説明を聞いて、ルールを理解する。</p> <p>●1年生とグループになって交流することを楽しむ。</p> <p>●コツを聞き、自分なりにやってみようとする。</p> <p>○回し方のコツがわからない子どもには言葉を足しながら分かりやすく伝えるようにする。</p> <p>●1年生に教えてもらいながらフラフープを回してみるが、うまくいかないとやめてしまう子どももいる。</p> <p>○上手にできたときには認めてほめる言葉かけをし、やってみようという気持ちが持てるような、声掛けをする。</p> <p>●ルールを知り、自分なりに繰り返し挑戦してみる。</p> <p>○ルールが理解できているか見守り、やり方が伝わりにくい子には、言葉を足しながら伝えるようにする。</p> <p>○保育者に頼ってくる時は、1年生とかかわりがもてるように声かけをする。</p> <p>●楽しかったことや、思ったことを発表する。</p>	<p>9:30</p> <p>9:35</p> <p>9:40</p> <p>10:10</p>	<p>① あいさつ</p> <p>② 今日の活動の流れを確認する。 全体→グループ ・活動の流れ ・フラフープのコツ ・ルールや約束</p> <p>③ それぞれのグループに分かれて、フラフープで活動をする。 ・2人組でフラフープをする。 ・4グループに分かれてフラフープリレーする。</p> <p>④ 感想や振り返りを発表する。 ペア→全体</p>	<p>◆自信をもって、交流会全体の司会進行をする。</p> <p>◆全体で元気よくあいさつをし、児童、園児ともに気持ちよく活動に入れるようにペアであいさつをし合う。</p> <p>◆フラフープを上手に回すための工夫を話し合う。</p> <p>◇ルールや約束を確認し、全員が安全・安心して活動ができるようにする。</p> <p>◆グループの仲間になった園児に分かりやすくやり方やルールを教える。</p> <p>◇1年生で行う運動会と同じコースややり方ができる場面を作る。</p> <p>◆園児の頑張っているところや良いところを褒める。</p> <p>◇児童や園児が困らないようにそれぞれのグループの様子を観察し、必要に応じて声掛けをする。</p> <p>◆楽しかったことや友だちの良かったところなど気付いたことを交流する。</p>

<p>○発表したい気持ちを大切に、感想を自分なりの言葉で伝えようとする姿を認めていく。</p> <p>○「〇〇して楽しかった」など、何をしていたことが楽しかったか言葉を使って発表できるように、子どもの思いを感じ取りながら引き出していく。</p> <p>○1年生の良かったところやできることを伝えて、1年生に憧れの気持ちをもてるようにする。</p> <p>○帰ってからすぐに遊びが楽しめるような環境があることに期待し、園に戻る。</p>	<p>10:15</p>	<p>⑤ 終わりのあいさつ</p>	<p>◇感想の視点を用意しておく。</p> <p>◆視点を基に感想を伝える。園児のことを中心に伝える。</p> <p>◇次の交流会でも楽しくみんなで交流できるように意欲づけ(教師から見てよかったところや気付いたところを伝える)を行う。</p>
---	--------------	-------------------	---

### 活動の様子



越知町保幼小交流活動②「フラフープで仲良くなろう」振り返り 2021.1.18

参加者	活動内容	ねらい	
		幼児（保育園・幼稚園）	児童
越知保育園 5歳児 13名 担任・園長 越知幼稚園 5歳児 10名 担任・園長 越知小学校 1年生 28名 担任・養護教諭	体育科で交流 ・春の運動会に向けて、フラフープを一緒に練習してゲームを楽しむ。	・1年生との交流を通して親しみをもつ。 ・体を十分に動かして遊ぶ。 ・集団の中でルールを守ってゲームに参加する。 ・運動会への期待をもつ。	・自分ができるいろんな技を園児の前で自信をもって披露することができる。 ・分かりやすい言葉で、園児にいろんな技を教えることができる。

○幼児と児童の姿は、ねらいを達成していましたか。

- ・事前から小学校に来て、一緒に活動できることを楽しみにして練習してきた。
- ・最初の交流会なので、緊張している園児を体育館玄関で迎え入れるなど安心感を持たせることが必要だったのではないかと。
- ・自己紹介の時間が無かったので、名前がわからないままのペアもいた。コミュニケーションや遊びの時間がほしかった。
- ・小学校の授業スタンダードに沿って進められてはいたが、もっと自由に交流する時間のゆとりがほしい。
- ・自由な時間も欲しいとの意見もあったが、コロナ禍の状況のなかで密になるような活動時間の設定は難しかったと思う。
- ・準備運動では、ダンスや踊り、ペアでの柔軟など楽しく気持ちをほぐす活動もあればよい。
- ・身体を動かす時間が不十分であった。
- ・保育園児と幼稚園児が交流する機会もほしい。

○活動内容は、幼児や児童のこれまでの経験や学びを生かして主体的に取り組めるものでしたか。

- ・運動会の種目でもあるからフラフープだったが、児童がやりたい活動を聞き、計画、準備をしていけば、もっと主体的な活動につながると思う。単発で行くと単元計画が立てられず、主体的な活動になりにくい。
- ・授業スタンダードでは、司会者が事前から練習をしてきたが、指示の抜けがあり混乱させてしまった。
- ・小学生も全体の流れや細かな動きが理解できておらず、戸惑う場面があった。
- ・交流活動までに、どこまで出来ているか確認して理解できていたかどうか。個人差もあるので実態把握が大事である。
- ・リレーとなると競争になるので、慌ててケガをするような危ない場面もみられた。
- ・司会者の指示に従い、決められた授業形態の中では主体的な活動として評価が難しいのではないかと。
- ・文型が決まっているのは親切だが、決まっているセリフや返事だと冷たく感じる。
- ・振り返りでの「楽しかった」、「嬉しかった」から、自分の言葉で表現できるようになりたい。

○保育者と小学校教員の幼児と児童への関りは適切でしたか。

- ・事前の打ち合わせが不十分で、活動の動き方がわからずサポートができなかった。
- ・小学校教諭にすべて任せるのではなく、保育園、幼稚園担任の出番もあればよい。
- ・3人のお手本のあと沈黙があったが、司会者の指示で拍手するのでは意味がない。指導者や保育者が拍手を促すこともできた。
- ・困っている様子があれば、どうしたらよいのか主体的に考えていけるような手立てができるとよい。
- ・指導者同士の打合せの機会が持たず、活動案だけでは細かな流れがわからなかったため次回は打ち合わせの時間を設定する。

○実施後に幼児や児童の活動や言動（姿）に変化はありましたか。

- ・1年生は今回上手に伝えることができなかったことを反省し、次回の交流に向けて教え方の練習している。
- ・児童の反応をみて、園児も真似をする場面がみられた。
- ・当日、園に帰ってすぐにフラフープを楽しんでいた。
- ・教えてもらった縄跳びを練習している。

## ②昔遊びをたのしもう

実施月日	令和3年1月22日(金)
校園名・学年・人数	越知保育園 5歳児 13名 担任・加配保育士・園長 越知幼稚園 5歳児 10名 担任・園長 越知小学校 1年生 29名 担任・養護教諭 ZOOM 支援者 2名
活動名	昔遊びをたのしもう
実施場所	越知小学校(生活科9/12)・越知保育園・越知幼稚園 ※オンライン交流(Zoom)
活動のねらい	年長児 ・小学校に親しみを持つ ・1年生との交流を通して憧れの気持ちをもつ ・昔遊びを知り、興味をもって取り組む ・遊び方を知り、自分なりに工夫して遊ぶ 児童 ・園児や児童のお互いの成長に気付き、交流を楽しむことができる。 ・今まで練習をしてきた昔遊びを園児に分かりやすい言葉で教え、年長さんの頑張ろうとする姿を応援できる。
準備物	あやとり けん玉 おじゃみ こま ケンケンパ まり メダルカード シール

### <活動の展開：改善案>

保育所・幼稚園 ●幼児の活動 ○保育者の援助	時間(60 H)	活動の流れ	小学校 ◆児童の活動 ◇教師の支援
●1つ上の知っている1年生に会い、名前を言ったり、話をしようとする。 ○久しぶりの再会を喜び、活動に期待が膨らむような言葉がけをする。 ●楽しく元気に自己紹介をする。	9:20(保) 10:35(幼)	① あいさつ ② アイスブレイク ③ 自己紹介 ④ 流れの確認	◇交流会がスムーズに進む雰囲気を作る。 ◆全体で元気よくあいさつをし、児童、園児ともに気持ちよく活動に入れるように自己紹介をする。
●1年生の見本を楽しむ。 ○つぶやきを聞き取り、コツの伝達がうまくいっているか確認する。聞き取りにくい場合には、内容を伝える。 ○ルールややり方が分かりにくい園児には、言葉を足しながら伝えるようにする。 ●事前に見たりやったりしていた昔遊びにさらに興味を持つ。 ●1年生に教えてもらったコツを生かして、昔遊びを楽しむ。 ●1年生のお手本を見て、やってみたいという気持ちになる。	9:25(保) 10:40(幼)	⑤ 1年生がお手本を見せる。  <順番> ・あやとり・けん玉 ・おじゃみ・こま ・ケンケンパ・まり	◆見本を見せるわざのグループごとに見本を見せ、そのコツを園児に分かりやすく伝える。 ◇zoom 交流のため、反応が届きにくい場合は、ジェスチャーで対応できることを伝える。 ◆細かい所が見えるように、カメラ位置を自分で工夫して伝える。
●遊び方を知り、自分なりに繰り返し挑戦してみる。 グループ → 個人 ○安全面に十分配慮しながら、落ち着いて参加できるような言葉がけをする。 ●グループごとに、カメラの前で披露する。	9:40(保) 10:55(幼)	⑥ 各園でそれぞれ分かれて練習する。	◆園児の取組を画面で確認しながら頑張っているところを見つける。 ◇児童や園児が困らないようにそれぞれのグループの様子を観察し、必要に応じて声掛けをする。 ◇前向きなつぶやきを聞き取り、画面で伝えられにくいときには、声かけをして伝えられるようにする。 ◆各グループごとに、園児の様子をみて、頑張っていることやアドバイスを伝える。 ◆必要な場合は、もう一度見本を見せる。
●楽しかったことや、思ったことを発表する。 ○感想を求められたら発表したい気持ちを大切に、自分なりに伝えようとする姿を認めていく。	10:10(保) 11:25(幼)	⑦ 感想や振り返りを発表する。 グループ→全体 個人	◆最初よりできている所や、頑張っている姿に応援の声がけをする。

<p>○「〇〇して楽しかった」など、何をすることが楽しかったか言葉を使って発表できるよう、子どもの思いを感じ取りながら言葉を引き出していくようにする。</p> <p>○1年生のすごいところやこんなことができるということを伝えて、1年生に憧れる気持ちが持てるようにする。</p> <p>●園にあった昔遊びのグッズを思い出す。</p> <p>○これからもすぐに遊びが楽しめるように環境があることに期待し、園に戻る。</p>	<p>10:20 (保)</p> <p>11:35 (幼)</p>	<p>⑧ 終わりのあいさつ</p>	<p>◆楽しかったことや友だちの良かったところなど気付いたことを交流する。</p> <p>◇感想を自信もって言えるようにするため、感想の視点を留意しておく。</p> <p>◆視点を基に感想を伝える。園児のことを中心に伝える。</p> <p>◇次の交流会でも楽しくみんなで交流できるように意欲づけ(教師から見てよかったところや気付いたところを伝える)を行う。</p> <p>◆年長さんへ頑張って練習できるように、シールが貼れるメダルを用意していることを伝える。</p> <p>◇交流会について、生活カードに書くことを伝える。</p>
---	-----------------------------------	-------------------	---

単元計画 (全 12 時間) ※ [ ] 内はめあて

学習活動	児童の思考の流れ	支援
<p><b>1 時間目</b></p> <p>「冬」ってどんな季節か考えて意見を出し合う。</p>	<p>めざせ！おちマスター ～ふゆがやってきたへん～</p> <p><b>ふゆってどんなきせつ？</b></p> <p>冬になるとさむくなるよ。</p> <p>去年は雪が降って、雪合戦をしたよ。</p> <p>ほかにはどんなものがあるかな。</p> <p>服をたくさん着たり、手袋をするよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活科のゴールを伝えて、意欲を高める。</li> <li>単元の流れが視覚的にわかるように掲示をしておく。</li> </ul>
<p><b>2 時間目</b></p> <p>校庭を探検して、夏や秋との違いを見つける。(空気、植物、気温など)</p>	<p><b>こうていをたんけんしてみよう。</b></p> <p>外に出ると寒いね。息が白いよ。</p> <p>水に触れると寒い！手を洗うのが大変だね。</p> <p>外は寒いから、休み時間には中で遊びたいよ。</p> <p>木の葉っぱが枯れているね。落ち葉がたくさん落ちているよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全面やルールなど確認する。</li> <li>観察する視点を事前に示す。(五感・夏や秋との季節の違いなど)</li> </ul>
<p><b>3 時間目</b></p> <p>冬の遊びはどんな遊びがあるか考える。</p>	<p><b>ふゆのあそびってどんなあそびがあるかな。</b></p> <p>冬はあんまり外には出たくないね。</p> <p>お正月に家族のみんなで、かるたやはねつきをしたよ。</p> <p>保育園、幼稚園のとき、今の2年生と昔あそびをしたね。</p> <p>地域の人と昔遊びをしたね！できるようになったよ！</p> <p>交流会をした後、保育園、幼稚園でも続けて、けん玉をしたよ。今年も招待したいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏の違いを見つける際に、特に遊びに焦点を当てる。</li> <li>昔あそびや、伝承遊びコンテストの事を思い出させる。</li> <li>年長さんのときの交流を思い出させ、交流会をしたいという気持ちをもたせる。</li> </ul>

<p><b>4時間目</b> 保育園、幼稚園の年長さんを昔遊びの交流会に招待する計画を立てよう。 (ZOOM 交流計画)</p>	<p style="text-align: center;">こうりゅうかいのけいかくをたてよう。</p> <p>交流会に招待するためには、何が必要かな。</p> <p>年長さんが安心して、遊びができるためにはどうしたらいいかな。</p> <p>去年はメダルや看板があってよかったよ。</p> <p>コロナがあるから、どうする？集まっても大丈夫かな？先生に相談してみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童のつぶやきをもとに、話し合いがスムーズに行われるようにする。</li> <li>・コロナ禍での対策として、オンラインでもできることを伝える。</li> </ul>
<p><b>5～8時間目</b> 招待状・看板・メダルチームに分かれて交流会の準備をする。</p>	<p style="text-align: center;">チームにわかれて、こうりゅうかいのじゅんびをしよう。</p> <p>勉強中に2人が前にいたのは、「学習リーダー」って名前なんだって。僕たちもやるのかな。テレビでやるの？楽しそう！</p> <p>オンラインだと人数が多いからどうする？2グループにしよう！</p> <p>オンラインのことを〇〇先生に相談しに行こう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料や道具がすぐ取れる、児童が主体的に活動できる環境を作る。</li> <li>・オンラインができるようにするための段取りを相談にいけるようにする。</li> </ul>
<p><b>9時間目 (本時)</b> 保育園・幼稚園の年長児と交流会をする。 (ZOOM 交流)</p>	<p style="text-align: center;">むかしあそびでたのしもう。</p> <p>1年生上手だね。どうやってやるのかな？コツは何かかな？</p> <p>お手本を見せてコツを上手に伝えるぞ！</p> <p>1年生が教えてくれたとおりにやったらできたよ！ありがとう！1年生すごいね！</p> <p>伝えたことができているか、しっかり見なくちゃね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい雰囲気を作ってスタートする。</li> <li>・それぞれのグループの様子や声がけをよく効けるようにする。</li> <li>・必要に応じて声掛けをする。</li> <li>・保育者と流れを共有しておく。</li> </ul>
<p><b>10時間目</b> 交流会の振り返りをする。</p>	<p style="text-align: center;">こうりゅうかいのふりかえりをしよう。</p> <p>年長さん、教えたら上手になっていたよ。</p> <p>年長さんの前で、自分の技を披露できたよ。頑張って練習してよかった。僕が教えたことで、できていたよ！</p> <p>メダルも喜んでくれていたよ。ぼくたちもやればできるね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長さんの様子や自分ができるようになったことなど視点を示し、自身の成長に気付くようにする。</li> <li>・写真や動画などを見せ、想起させる。</li> </ul>
<p><b>11・12時間目</b> 「冬」のきせつの楽しさをまとめよう！</p>	<p style="text-align: center;">「ふゆ」のきせつの楽しさをまとめよう。</p> <p>冬でも昔からあった遊びをすると楽しいね。</p> <p>葉っぱや気温など、夏や秋とは違っていたね。</p> <p>1年生と一緒に遊んだり勉強したりすると楽しいね。</p> <p>寒いけど、みんなのできる遊びをすると楽しいね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の季節の不思議さやその生活の変化に気づけるようにする。</li> <li>・遊びを中心に、交流し合うことで冬を楽しむことができることに気づかせる。</li> </ul>

活動の様子



越知町保幼小交流活動①「昔遊びを楽しもう」振り返り 2021.1.22

参加者	活動内容	ねらい	
		幼児（保育園・幼稚園）	児童
越知保育園 5歳児 13名 担任・園長 越知幼稚園 5歳児 10名 担任・園長 越知小学校 1年生 28名 担任・養護教諭	生活科で交流 ・1年生が練習してきた昔遊びを教えたり一緒に遊んだりして交流する。	・小学校に親しみをもつ。 ・1年生との交流を通して、憧れの気持ちをもつ。 ・昔遊びを知り、興味をもって取り組む。 ・遊び方を知り、自分なりに工夫して遊ぶ。	・園児や児童のお互いの成長に気付き、交流を楽しむことができる。 ・今まで練習をしてきた昔遊びを園児に分かりやすい言葉で教えることができる。
<p>○幼児と児童の姿は、ねらいを達成していましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Zoomでのオンライン画面を通じた交流では、顔もよく見えて身近に感じた。</li> <li>・一人ひとりがしっかりと聞くことができ、1年生への憧れの言葉があった。</li> <li>・園児の成長に対し、心の声がよく出ており、相手にも伝えようとしていた。</li> <li>・コツを教えてもらったことで、自分なりに工夫して遊ぶことができていた。</li> <li>・画面に向かって挨拶をしたり、手を振って名前を呼んだり、親しみや憧れをもった姿が多く見られた。</li> <li>・1年生のアドバイスを聞き、素直に反応する年長児の姿があった。</li> <li>・見せたい、見てもらいたいという思いが大きく、ドキドキワクワクしながら過ごすことができた。</li> <li>・2回目の交流なので子ども達にもゆとりがあり、小学生に親しみをもって活動できていた。</li> </ul>			
<p>○活動内容は、幼児や児童のこれまでの経験や学びを生かして主体的に取り組めるものでしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に地域との交流もあれば、もっと自信をもってお手本を見せることができたのではないだろうか。</li> <li>・声が伝わりにくいと、大きな声を出したり、一斉に言ったり工夫する姿が見られた。</li> <li>・上手くなるためのコツの表現から、これまでの体験や学びがうかがえた。</li> <li>・活動や言葉にしっかりとコミュニケーションが取れていた。</li> <li>・ケンケンパの長さや数を比較したり、ケンケンパの速さの違いに気が付き、10の姿につながる発言が見られた。</li> <li>・お正月遊びで体験した後だったので、見てもらいたい思いが主体性につながった。</li> <li>・オンラインでは、自分がいつも親しんでいる慣れた環境で伸び伸びとできていた。</li> </ul>			
<p>○保育者と小学校教員の幼児と児童への関わりは適切でしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生が反応することで、自然と子ども達も拍手や発言などの反応ができていた。</li> <li>・事前の打ち合わせがしっかりできていたので、授業の流れや意図が共有できていた。</li> <li>・児童の自発的なつぶやきが多く、それに対して教員の関わりもよかった。</li> <li>・伝わりにくい部分は、言葉を変えてわかりやすく話ができている。</li> <li>・幼保の先生方もたくさん声掛けをしてくれて、一緒に活動できた。</li> <li>・明るい表情、声で聞き取りやすく、復唱するなどして、スムーズに気持ちをつなげられていた。</li> <li>・音声が途切れたときなど、ジェスチャーで表現することで相手にも伝える方法や手段を考えられていた。</li> </ul>			
<p>○実施後に幼児や児童の活動や言動（姿）に変化はありましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔遊びに興味を示さなかった子どもや、できなくて諦めモードになっていた子どもが再チャレンジする姿があった。</li> <li>・自分ができない技を、休み時間に練習する姿が見られた。</li> <li>・教室に帰ってから年長さんの技を「すごかったね」、「負けられんね」という声が聞こえてきた。</li> <li>・前回のフラフープでペアになった子どもの姿を喜んで見ていた。</li> <li>・1年生から聞いたコツを「～って言いよったね」と思い出し、確認しながら練習していた。</li> <li>・技ができるようになりたいという強い思いが感じられた。大きな変化、影響があったと思う。</li> <li>・ICTを上手に活用すれば、短い時間でもつながり合う機会を増やしていけると感じた。</li> </ul>			



## 14. 研究の成果と課題

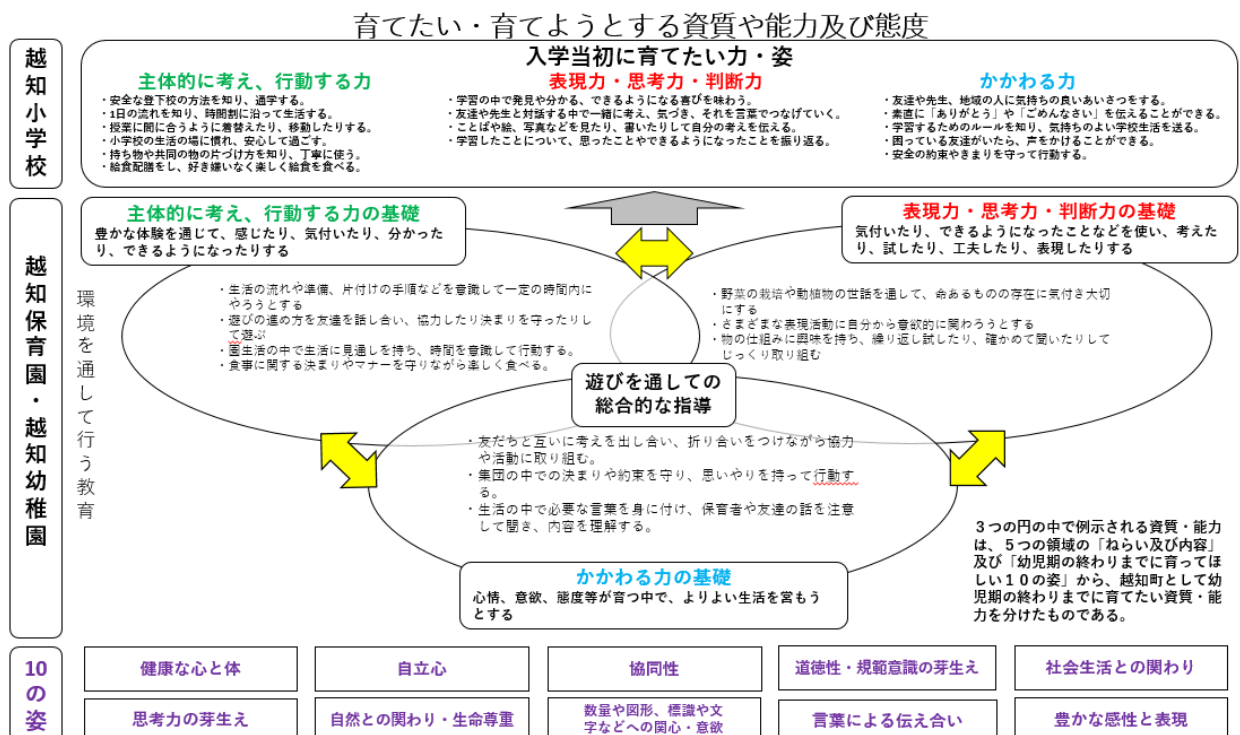
### (1) 接続期カリキュラムについて

#### ①成果

- ・越知町の目指す子ども像を保幼小で整理し、共通のキーワードから具体的な育てたい子どもの力を、接続カリキュラムに明確に標記することで、目標を共有して取り組むことができた。
- ・単元配列表、スタートカリキュラムの作成要項を示し、生活科を中心とした合科的・関連的な指導を明確に標記した。週案では、1時間(45分)を15分単位で編成することで、なかよしタイムからぐんぐんタイムへの繋がりを意識した指導ができた。
- ・幼児期の経験や体験を生かすための歌やダンス、手遊びについて、保幼小連絡会で情報共有したことを単元計画に組み込むことができた。
- ・週案には教育環境の充実や工夫を記載し、どの児童も見通しがもてるように、授業の流れやポイントとなるキーワードなど視覚的支援を意識して作成・編成することができた。

#### ②課題

- ・接続期だけでなく、保幼小12年間の取組と捉え、それぞれの年齢に応じた発達や学びの連続性を意識して目標を設定したが、接続期以外の学年には十分周知できていなかった。令和2年度には教育の円滑な取組計画(中・長期的)を作成したので、各段階で評価・分析・改善ができる仕組みを構築していく。
- ・保幼小接続期カリキュラムは、年度当初に学年の特徴・課題に合わせて年間計画を編成してきたが、年度末の検証のみであった。少なくとも学期ごとに2回程度の間接検証が必要であると感じた。
- ・接続期カリキュラムや単元配列表、5歳児後半の年間指導計画の作成や見直しについては、保幼小がそれぞれ作成したものを委員会でもとめることが多かった。来年度は、保幼小合同で協議(作成研修)の時間を多く設定していく。



育てたい・育てようとする資質や能力及び態度について、接続期カリキュラムからよりわかりやすく図に整理してみた。越知小学校が目標とする3つの資質・能力に向けて、保育園、幼稚園では遊びを通しての総合的な指導により、「主体的に考え、行動する力の基礎」、「表現力・思考力・判断力の基礎」、「かかわる力の基礎」を一体的に育てていくことが重要である。

令和2年度保幼小接続期カリキュラム【越知幼稚園・越知保育園・越知小学校】

幼稚園の 実際 (3学期)	①基本的な生活習慣・健康 ・基本的な生活習慣を身につけ、身の回りのことは自分でできるが、種類がかわったり、丁寧でできなければならないこともある。 ・種類がかわることもあるが、新しい物に慣れず苦痛。 ・生活や活動に慣れしを持ち、自分で生活を営めるようになる。	②人とのつながり ・友だちと共通の目的に向かって取り組む中で、自分の考えを出し合い、考えあがり、協力したりして互いに助け合い、遊びを豊かにしている。 ・意見の違いなどで思い通りにならない時は、折り合いをつけたり、気持ちの切り替えたりすることの出来るようになってきている。 ・大きな集まりの中（保幼小交流など）や、知らない人やかわりの少ない人がいる中で自己主張し、発言がある。	③学びへのつながり ・新しい文字に興味を持ち、遊びに取り入れて遊ぶ。 ・新しいことや得意なことを見せ、練習し思いやりを持ちあう。 ・クラス全員で一つのことに取り組むが、話し合ったり考えあがりながら、生活することを求めている。 ・一年生になることに喜びや期待を持ち、意欲的に遊びや生活活動に取り組んでいる。	【小学校】入学準備に育てたい力・姿 ①基本的な生活習慣・健康 ・1日1日の生活リズムを整え、生活する。 ・1日1日の生活リズムを整え、生活する。 ・1日1日の生活リズムを整え、生活する。	
保育園の 実際 (3学期)	①基本的な生活習慣・健康 ・遊びや生活の中で、得意な事や自分の好きなことに対しては自ら進んで行える。 ・年長児になった喜びや期待を持ち、様々なことに意欲的に取り組めるようになる。 ・注意や指示の言葉や否定的な言葉が多く、友達とのぶつかり合いが見られる。	②人とのつながり ・運動遊びを通して少し難しいことや苦手な事にも取り組む意欲が出てきた。 ・自分の思いに（思いや考え、持っている力など）に気付いているが、認めることが難しい。 ・友達と意見を交換し、話し合ったり工夫したりして、新しい考えや方法を自分なりに試してみようとしている。仲間や友達と協力し、友達と一緒に遊ぶ意欲がある。	③学びへのつながり ・生活や活動に見通しを持ってようになる。小学校への入学に期待を持ち、自分の力を発揮しながら、自信を持って主体的に行動できるようになる。 ・言葉や文字に興味を持って遊びに取り入れている。 ・友達や先生との関わりから活動を進める中で、目的を共有したり、協力したりするようになる。	②人とのつながり ・友達や先生、知らない人との関わりが深くなる。 ・1日1日の生活リズムを整え、生活する。 ・1日1日の生活リズムを整え、生活する。	
【保幼小 小学校入 学までに 育てたい 力・姿】	①基本的な生活習慣・健康 ・基本的な生活習慣が定着し、身の回りのことを自分でできる。 ・身体を十分に動かして、元気に遊ぶ。 ・いろいろな食べ物に慣れ、進んで食べようとする。	②人とのつながり ・友だちと互いに考えを出し合い、折り合いをつけながら協力して遊びや活動に取り組む。 ・集団の中で決まりや約束を守り、思いやりを持って行動する。 ・生活の中で様々な言葉や表現を使い、保護者や友達と話を進めたり聞き、内容を理解する。	③学びへのつながり ・自然や身近な事象に興味や関心を持ち、自分なりに工夫し、新しい考えを生み出す喜びや楽しさを味わう。 ・さまざまな表現を楽しみ、意欲的に遊びや行事などに取り組む。 ・簡単な文字や数などに興味を持ち、生活や遊びを通して楽しむ。	③学びへのつながり ・学習の中で学び、さまざまな生活習慣を身につける。 ・1日1日の生活リズムを整え、生活する。 ・1日1日の生活リズムを整え、生活する。	
時期	保幼：4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月	小学校：4月・5月			
活動内容	①基本的な生活習慣・健康 ○1日の流れにおおむね見直しをもち、生活する → ○生活や活動にメリハリを持ち、やていいこと、悪いことを自分で考えで行動する → ○生活の流れや準備、片付けの手順などを確認して一定の時間内にやろうとする。 ○外へ行く活動をめざして遊ぶことを楽しむ → ○ルールのある遊びや無言遊びなど、運動遊びを楽しむ → ○遊びの進め方を友達と話し合い、協力したり、決まりを守ったりして遊ぶ。 ○身の回りの片づけをする → ○生活活動や遊びを一緒にする → ○生活の中で必要なことに気付いて自分でしようとする → ○生活の中で生活に見通しを持ち、時間を意識して行動する。 ○健康な生活リズムを身につけ、保護者や友達と楽しく食事をする → ○いろいろな食べ物に興味を持ち進んで進んで食べようとする → ○食事に関する決まりやマナーを守りながら楽しく食べる。	②人とのつながり ○元来よく遊びたい → ○自分から進んで遊びたい → ○人と一緒に遊ぶのが好きになる。 ○友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わう → ○友達と互いに協力し合う → ○友達といろいろな活動を楽しんで取り組むが、自分の思いや考えを言葉に表し、互いに認め合う。 ○自分の気持ちを相手にわかるように言葉で伝える → ○友達と互いに考えを出し合ったり、協力したりして遊びや生活をわかろうとする → ○遊びの中で意見や思いの行き違いを認識しながら、相手の気持ちをわかろうとする。 ○友達と一緒に生活する中で、決まりの大切さに気づきようとする → ○公共の場での行動の仕方を理解し、みんなで気持ちよく生活できるようにする。	③学びへのつながり ○身近な事象に興味、関心を持ち、遊びや生活の中に取り入れ、工夫して遊ぶ → ○秋の自然に触れ、地域の行事や地域の人の働きに関心をもち → ○野良の動物や植物の性質を通して、あるものの中に気付く大切にする。 ○見たこと、考えたこと、いろいろな材料を使って工夫して表現する → ○感じたことを自由に描く、作るなどして表現を楽しむ → ○さまざまな表現活動に自分から意欲的に関わろうとする。 ○おけいこ、リズムに合わせて歌やダンスやリズムに合わせて遊ぶ → ○遊びや生活に使う簡単な文字や数に興味をもち、生活 → ○物の仕組みに興味を持ち、繰り返し試したりして、じっくり取り組む、楽しめたりする。		
保幼小 連携 交流	子ども、 保護者、 地域との 連携	子ども、 保護者、 地域との 連携	子ども、 保護者、 地域との 連携	子ども、 保護者、 地域との 連携	
家庭・保護者・地域との連携	・基本的な生活習慣の定着（早寝・早起き・朝ごはんと、排せつリズム） ・保育参観 個人面談 ・就学時検診 ・保護者向け講演会 ・入学が楽しみになるように家庭での会話や心づなをよくなる。	・基本的な生活習慣を再確認する。 ・懇話会等で子供の姿を保護者に伝えるときに、園々の期待や不安を知り、園々に対応する。 ・就学前の心構えや生活習慣などを保護者に伝える。 ・園でよりクラスだより等のお便りや子どもの様子を伝える。 ・親育ち支援の取り組み。	・生活リズムチェックカードの実施。 ・園でよりクラスだより等のお便りや子どもの様子を伝える。 ・親育ち支援の取り組み。	○「早寝・早起き・朝ごはんと」を基本とした生活習慣を身につける。 ○学校通学等で学校や子どもの様子を伝える。	

保幼小連携・接続推進支援事業を受ける前【第1期】では、越知町の接続期カリキュラムとして作成されていなかった。指定を受けるにあたって、県内の先進校で活用している様式を参考に、両園長・小学校長と一緒に編成を続けてきた。保幼小連携・接続の充実と、家庭・保護者・地域との連携を大切にしながら、小学校入学当初【4・5月】までを見通した構成となっている。

計画した取組を充実させるためには、学期ごとに実践の振り返りや見直しを行い、越知町の実態に合わせた編成をしていく。

(2) 子どもをつなぐ

①成果

- ・越知町のめざす子ども像に向けて、育てたい具体的力・姿を保幼小で共有し、保幼小接続カリキュラムに沿って取組むことができた。
- ・保幼小公開保育・授業での研究協議、参観者振り返りシート、保護者アンケートの結果をもとに、連携・接続状況シートの目標数値達成を目指して取組むことで、保幼小教職員の意思統一ができた。
- ・交流活動取組案を一緒に作成することにより、それぞれのねらいを明確にして指導にあたることができた。また、振り返りの視点を合わせることで成果・課題が共有でき、活動後の支援に活かすことができていく。

②課題

- ・年長と1年生の交流は計画的に実施できているが、他学年との交流の機会が十分ではなく、課題に感じているので、年間計画の中に位置付けておく。
- ・対象学年の担任など、一部の保育者や小学校教員の取組にならないように、組織全体の取組に広げていきたい。また、視察や幼保支援課からの先進的な事例も参考にしながら、3歳児から6年生まで異学年交流を年間計画に位置付け、さらなる充実を図っていく。
- ・学校行事や児童会生徒会部会の取組、ボランティア活動など、保幼小の連携だけでなく保幼小中の児童・生徒と一緒に活動できる機会を増やしていけるように、越知町連携推進委員会で提案していく。

### (3) 先生をつなぐ

#### ①成果

- ・ 保幼小連携推進部会では、接続期カリキュラムやスタートカリキュラム、交流活動取組案など、一緒に作成演習を行うことで、交流を深めることができた。
- ・ 令和2年度には、保幼小全教職員を対象に合同研修会を開催することができた。ワークショップでは、意見を交流できる時間を十分に確保した。
- ・ 越知保育園での保育者体験研修を実施したことで、年長担任と1年担任がつながり、その後の交流活動事前打ち合わせや保幼小連絡会では積極的に情報共有することができた。

#### ②課題

- ・ 保幼小連携推進部会は計画的に実施できたが、限られた担当者での開催であり、年度ごとに担当者（担任）が変わるため、連携や取組の継続が難しい。接続期に限らず、0歳から15歳までの連携を推進していくために、越知町連携教育推進委員会の各部会の在り方を見直し、保育園から中学校までの交流や活動の機会を増やしていく。
- ・ 公開保育・授業は計画通り実施できたが、それぞれの参観授業や研究協議に参加できる体制が整っていない。今後は管理職の共通理解のもとに日程調整や時間設定の配慮が必要である。
- ・ 先進地視察研修では、保育園・幼稚園が合同参加して交流を図れたが、小学校教職員と一緒に視察研修が出来ていないため、保幼小連携・接続に関わる研修を計画する。



③ 保幼小合同研修ワークシート



令和2年10月21日(月)は、越知町研修指定日に設定し、保幼小合同研修会を実施した。前半のワークショップでは保幼小の教職員だけではなく、地域、保護者、行政も一緒に、越知町の子どもについて協議し、課題を共有することができた。また、これまで2年間の保幼小連携・接続推進支援事業についての取組を知ってもらい、進捗状況を報告することができた。初めての試みではあったが、研修後の振り返りでは、校種を越えた共通理解の必要性を感じる。

松蔭大学教授 山下文一先生を招聘し、ワークショップのフィードバックと講演を行った。越知町連携教育の始まりと捉え、教職員の意識改革のきっかけになったのではないと思う。保幼小連携・接続推進支援事業が終わった後、これからの取組がもっとも重要であり、来年度以降[第三期]に引き継いでいく。

#### ④保幼小合同研修振り返り（参加者より）

- 保育園内での子どもの姿しか見たことがなかったが、今回の研修で小学校での子どもの姿、地域の中での子どもの姿を知ることができ、勉強になった。自然豊かな越知町ならではの子どもの強みを活かす取り組みを保幼小・家庭・地域がそれぞれ共通の理解のもとしていけたらいいと思った。
- ワークショップでは、越知町の強み（地域力、優しさ、仲間意識）や弱み（体力不足、語彙力、基本的な生活習慣）など、課題を改めて知ることができた。子どもの主体性を伸ばし、思考力を深められるよう日々関わっていかなくてはならない。
- 0歳からの保育の大切さを改めて感じ、これからも頑張っていく活力になった。主体的に学ぶことができる越知町の子どもを、どうやって伸ばしていくのか研究していきたい。
- いろんな立場からの意見を聞いて、子どもに対するそれぞれの思いを知ることができた。みんな願いは同じなので、今後も保幼小で連携を深めていくこと、意見交流することが保育の質を高めていく上で大事だと思った。
- 自然体験の少なさや体力の低下の原因が、ゲームやメディアにあるのではと感じた。「動画やスマホを手放すのが難しい」という人が低年齢化してきたと感じた。
- 地域や保護者の方々の参加もあり、話を出し合える場を持つことができ、意見を共有し合えたことは大変有意義であった。山下先生の講演を聞き、幼児期において育みたい資質・能力について知ることができた。小学校教諭として、保幼の現状、取組を知ることは大変重要であると感じた。
- 生活の土台を造る保育での取組の意義を改めて感じた。山下先生の講話では、「資質・能力」、「知識・技能」等、保育から一貫したカリキュラムがあり、それらを常に意識しながら、小学校の教育につなげていかなくてはいけない。
- やっているつもりだが、しかし、そのねらいに向けて共有がまだまだ不十分であると改めて感じた。次年度からの取組の方向性が見えてきた。
- 保幼小の連携の重要性を再認識できる貴重な研修となった。高等学校を卒業して、社会に羽ばたくときに、どのような力を付けている子どもを育てるかについて、しっかり目的意識をもって教育することが必要だと思った。
- 越知町の子どもたちの未来のために、保幼小の先生方が集まり話し合えたことは大変、有意義なことだと思った。今後は、今日出された課題を共有し、学校、家庭、保護者がどのような手立てをしていくか具体的に考えていくことが大切だと考える。
- 小学校だけでなく、保幼、地域の方、保護者の方と交流する機会があることで、目の前の子どもたちの支援や手立てについて、様々な視点から話し合うことができた。“自ら学ぶ”、“豊かに学ぶ”とは具体的にどういった姿なのか考え、将来、子ども達が社会でたくましく歩んでいけるような教育を行っていきたい。
- 小さな失敗を怖がる子どもが多い。それは保護者自身が怖がっていることに他ならないという現実の話に驚いた。ある意味で、家庭への支援も何かしら考えていく必要があると感じた。教育の担い手は教師なのか、保護者の役割って何だろう。これからの教育の在り方を考え直してみる必要があるのではないかと思う。
- 自信をつけるために、最後までやりとげる体験や、やりきった体験が必要である。そのためには、子どもに合った体験や経験の与え方が重要になってくると思う。家庭を巻き込む活動の重要性、ずっと前から言われている永遠のテーマだと思う。
- 社会で生き抜く力を付けるためには、幼児期から小・中学校まで連携した教育・保育が重要であることがとてもよく分かった。同じ目標に向けて、情報を共有していくためにも定期的にこういった研修が必要である。越知の教育に、仕事として携わっていけることに、やりがいを感じた1日だった。山下先生の講話も分かりやすく、保護者としても参考になることが多く、改めて子育てについて考えさせられた。
- グループ内の先生方と、越知町の子どものことを熱く語り合うことができてよかった。実際に感じている不安や悩みにあまり違いは無く、各場所での思いが理解できた。越知小学校の先生方と話をすることができて、とても身近に感じた。

## 15. 先進地視察研修

令和元年度 越知町教育委員会 保幼合同視察研修

### 県外研修・先進校視察等報告書

神奈川県視察研修（保育幼稚園合同研修）＊横浜市幼保小教育連携研修会

日程：7月24日～7月25日

訪問先：7月24日（水）関内ホール

7月25日（木）ウイリング横浜[上大岡オフィスタワー]

ねらい：横浜市接続期カリキュラムを活用して幼保小の連携を推進し、幼児教育から小学校教育への円滑な接続が図られるようにすることを学ぶ。

#### 1: 研修・視察の概要

1 訪問先 横浜市幼保教育連携研修会

2 訪問日時 7月24日（水）、25日（木）

3 目的

先進地である横浜市の接続期カリキュラムを学ぶことで、保幼小の連携を推進し、幼児教育から小学校教育への円滑な接続が図られるようにする。園における自主性・社会性・創造性豊かに、主体的に行動できる幼児の育成の具体、「育てたい10の姿（育てたい資質・能力）」の育成の具体、教員育成のための研修内容の具体、保幼小接続を意識した幼児期にふさわしい遊びの系統的、総合的な指導の具体について学ぶ。

4 参加者5名

越知町教育委員会：教育長、研修指導員

越知幼稚園：園長、教諭

越知保育園：園長

5 旅程

7月24日（水）離高，横浜市関内ホール

7月25日（木）ウイリング横浜，帰高

#### 2: 研修・視察内容の概要

横浜市では、平成23年度に「横浜版接続期カリキュラム」を策定し、幼保小連携や接続期カリキュラムの取組を推進している。横浜版接続期カリキュラムを活用して幼保小の連携を推進し、幼児教育から小学校教育への円滑な接続が図られるようにすることを目的としている。

現在、241の私立幼稚園、39の認定こども園、77の市立保育所、686の認可保育所がある。この他にも認可外保育所や幼児教育施設等があり、保育や教育の環境や内容は多様化している。家庭環境も多様化、複雑化しており、様々な点で支援や配慮が必要な子どもが増加している中で、「接続期カリキュラム」では多様な環境で育ってきた子どもたちが安心して入学し、主体的に学びに向かうことができるように様々な手立てや工夫を提案している。今年度の全体テーマは「学びに向かう力を育む保育や教育のあり方」であり、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を手がかりとして、学びに向かう力を育む保育や教育のあり方について共に考える研修である。

1日目の全体会では、東京大学名誉教授 汐見先生による講演と実践報告・シンポジウム、2日目は午前・午後に分けて6つの分科会テーマのもとに、実践提案、研究協議、グループディスカッションを行った。分科会テーマは下記の通りである。

- ①健康部会 「自ら健康で安全な生活をつくり出す力を育てる」
- ②人間関係部会 「身近な人と親しみ、人と関わる力を育てる」
- ③環境部会 「身近な環境に好奇心や探究心をもって関わり、生活を豊かにしていく力を育てる」
- ④言葉部会 「体験したり考えたりしたことを自分なりの言葉で表現し、伝え合う力を育てる」
- ⑤表現部会 「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を育てる」
- ⑥支援部会 「集団の中で生活することを通して、全体的な発達を促すとともに、社会性や豊かな心を育てる」

### 3：研修・視察を通して取り入れたい内容

#### <越知保育園 園長>

保育所保育指針・幼稚園教育要領の改訂により、今後子ども達の「生きる力」を育む保育や教育が求められている。特に「非認知的スキル」をつけていくためには、保育の様々な場面において「他者と関わる経験」や「自分で考え、実際にやってみる」機会を、いかに豊富に子ども達に与えていくということが重要になってくる。保育士の言葉がけや意図的な環境でそれらの経験値は大きく左右されると思われるので、保育士のスキルアップは必要だと思う。園全体で方向性を理解し、意識して保育にあたっていきたい。

また、好奇心や学びへ向かう心を育てるためには、子ども達一人ひとりの心の安定、自己肯定感やしっかりと受け入れてもらえる居場所作りが必要になってくる。今まで以上に、子ども達の内面を探りながらの丁寧な関わりや、職員会等で全体での幼児理解を図っていきたい。全体で問題を共有すること、対応にあたることで子どもの良さを認める、引き出すことを続け、心身の安定を目指したい。

安定した心を持ち、多様な経験を幼児期に積み重ねていくことで、学びのもととなる「探求心」「コミュニケーション能力」「やり遂げる意欲」「判断する力」等の非認知的な「学びの芽」を持った子ども達を育てていくことが保幼小の連携につながっていくことを再認識し、今後の保育園の目指す所としていきたい。

#### <越知幼稚園 園長>

##### ○教職員の連携を強化

協力体制を高め、幼児理解を深める

##### ○学びに向かう力を育むための環境づくり

- ・ 知的好奇心や探究心を育む環境
- ・ 自己制御や自尊心などの非認知能力を培う環境
- ・ 自己肯定感を高める環境
- ・ 幼稚園全体で「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の表れを見取り環境構成する

##### ○保幼小の連携を強化し、円滑な接続を図る

#### <越知幼稚園 教諭>

今回の研修を通してまず、子ども達が自分でどんどん学んでいこうとする力（考える力、工夫する力）が身につくような保育を改めて意識していこうと思った。

実践報告からは、食育についての実践報告で「減らしてください」と言う子どもや、野菜が苦手な子がいるという子ども達の姿があつて取り組んだと聞き、当園でもそのような子ども達の姿があるので参考にしたい。例えば、食べ物の皮をむいたり匂いを嗅いだりしたりして食材に触れる機会をつくったり、食べ物クイズでどうやってその食べ物が出来るのか、どのような物なのか絵カードにして子ども達にクイズにしてみたいと思った。

#### ＜越知町教育委員会 研修指導員＞

横浜市は、長年に渡って幼保小連携に関する研修会を行っており、年間を通して系統立てた合同研修会を6～7回程度実施しており、すべての職員が同じ方向に向かって進んでいる印象を受けた。その中でも、小学校教員も同じ視点に立って一緒に学びを深めており、幼保小をつなぐ連携教育のための専門官が配置されていることが大きな強みであると感じた。

これまでの自分は中学校籍として、進路選択、進学指導を通して中高連携については関わってきた。土佐町では小中連携に携わってきたこともあったが、保幼小連携については無知な状態であった。

越知町では今年度から2年間、保幼小連携の指定を受け、新たに保幼小接続期カリキュラム部会が新設された。保幼小連携について学習していくほどに、幼児教育や小学校教育との接続期の重要さに気付かされた。今後も研修を通して理解を深めるとともに、委員会担当者として研究の成果が表れるよう責任を果たしていきたいと思う。

#### 4:所感

#### ＜越知保育園 園長＞

横浜市という大きな枠組みの中で、保幼小の職員が一堂に会し、同一の内容について研修を受けるという機会があることに驚いた。自分が考える保幼小連携の中では、保幼の保育内容や小学校の授業についてお互いの職員同士が理解しどのような取り組みをしているのかを知り合うことが大切ではないかと思っている。

今回の研修では、お互いの保育や授業の内容について理解するというだけでなく、子ども達と向き合う姿勢についても同じ視点で話がなされていた。越知町でも増加傾向にある発達支援が必要な子ども達に対しての対応にも通じる内容で、やはりそれぞれの子ども達がしっかりと認められ、興味を持ったことに対する探求心の保証をしてもらうことが大切だと実感した。この研修を小学校の先生方と一緒に参加できれば、今後の連携の内容にもつながったのではないかと思ひ残念に感じた。その中で、子どもが変化したり成長したりする実感が保育現場だけでなく、家庭でも感じられると保護者に対しても話がしやすくなるのではないかと思う。

また分科会では、横浜という都会ならではの問題も聞くことができた。増加する外国の方々の家族問題や公立保育所・幼稚園と私立の幼稚園の保育内容の格差・接続に関してもいくつもの保育園、幼稚園から小学校に入園してくるので接続が難しいこと等、なかなか多様な問題を抱えている姿が見られた。越知町は、保幼小中と1校ずつで心理的な距離も近く、連携しやすい環境にあると感じた。小さい町だからこそその利点を活かし、連携を進めていきたい。

#### ＜越知幼稚園 園長＞

本年度から2年間保幼小接続期実践プラン「保幼小連携・接続推進事業」の指定を受け、日々研究する中、幼児教育と小学校教育の接続の推進に向けて先進的に取り組んでいる横浜市の「令和元年度幼稚園 保育園 小学校 教育連携研修会」に参加させていただき、多くの学びがあり有意義な研修でした。

2日間の研修では、「学びに向かう力」とは、小学校に入ってから初めて身につくものではなく、幼児期の保育・教育の「遊び」を通した学びの中から、非認知能力（集中力や試行錯誤する力、最後まで諦めずにやり抜く力、友だちとかかわる中から協調性や自己統制力などの感情のコントロールする力）が、小学校以降の主体的な「学び」につながることや遊びから学びにつながる各園小学校の事例を通して、幼児教育が学びの活動源であることを再認識することができた。

私達の日々の生活にAIが登場し、子ども達を取り巻く環境が著しく変化している社会で、これからの子ども達が、生き抜いていく力を育てる為には、保育者が環境を通して目に見えない力、数値で測ることのできない非認知能力を育てていくことが重要であり、その環境の中には、保育者自身も含まれることを意識して取り組んでいくことが不可欠である。保幼小の子どもとの交流や職員の連携を一層させ、連続性・貫性のある接続期カリキュラムを作成していくことが求められると感じた。



## <越知幼稚園 教諭>

横浜市の幼保小教育連携研修会を通して感じたことは、幼稚園・保育園・小学校と密な連携が取られているなど感じた。密な連携が取れると、保育園・幼稚園の子どもがどのように育って経験して保育園・幼稚園を過ごしてきたのか具体的に小学校へと伝えることが出来るので、小学校ではこうしていこうとカリキュラムを設定できると分かった。

越知町でも幼保連携や幼保小交流会などがあるが、日にちが決まっているのでなかなか密な連携が取りづらいところがあると思う。子ども達同士が関われる機会が増えていったら良いと思いますがなかなかすぐには難しいと思うので、まず教師や保育士達同士が話し合える機会をもっと増やしていけたら良いのではないかと思います。また、幼稚園・保育園の子ども達と小学校の子ども達同士が関わることを増やしていくと小学校への憧れや、小学校はこんなところなのだと言うことが出来るので期待をもって小学校へと進むことが出来るのだと思う。

2日目の分科会では、横浜市の幼稚園・保育園・小学校の教師の方と話し合えることができとても良い機会だった。「言葉部会」では、ペープサートを使った保育の提案で今まで知らなかったペープサートの種類で、このようなものがあるのだと知ることができ、実際にやっている動画も見て面白そうだな、子ども達が興味を持ちそうだなと感じたので自分の保育でも取り入れたいと思った。

「環境部会」でとても印象に残ったことは、子ども達に「待ってて」と言うことが子ども達にとってストレスになるのではないかということ。「待ってて」と言うことで、子ども達の「やりたい・作りたい」という気持ちがすぐに実現してあげられなくなるので、改めて材料の種類、材料を置く場所、材料の数など環境作りが大切だと感じた。

## <越知町教育委員会 研修指導員>

「学びに向かう力を育む保育・教育」をテーマに、目指す子ども像、目指す教師像、社会や子供たちの実態に合わせた目指すべき乳幼児教育、そこに向かって育ててほしいという思いが実践報告やグループディスカッションを通して強く感じられた。

第4分科会の言葉部会では、自分で遊びを選ぶことや、またそこから様々な遊びが広がり、遊びの中で考え工夫することで素地となる思考力や表現力が身に付いたり、友達や先生方と遊びや活動等を通して豊かな言葉、表現力で自分の思いを発信することで、多くの言葉や関わり合う力を培っていることを学んだ。

第3分科会の環境部会では、給食活動で食材に興味を持たせることから栽培活動を通して、クラスでの話し合い活動や制作活動など、さまざまな保育に展開することができることを知った。

また、学校探検から自然に好奇心や探究心を膨らませ、「なぞのばしょ」と名付けた稲刈り場所に興味を持ち、自分たちの主食であるお米を育てたい、食べたいという思いや願いを大切に栽培体験につなげていく。生命の変化や成長の様子に関心を持ったり、季節の移り変わりを実感するなど五感に働きかける体験を通して生活を豊かにしていく力を育んでいることを知った。



**東京都視察研修**（保幼小連携視察研修）＊中央区立幼小教育連携研究発表会

日 程：1月24日～1月25日

訪問先：1月24日（金）月島第三小学校（研究発表会）・晴海幼稚園

ねらい：発表内容や実践事例を参考に、令和2年度高知県幼保小連携・接続推進事業の研究発表会に向けて取り組む。

1：研修・視察の概要

- 1 訪問先 東京都中央区月島第三小学校・晴海幼稚園
- 2 訪問日時 1月24日（金）
- 3 目 的 中央区教育委員会研究奨励指定校園の研究発表会から、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた幼小接続の指導の工夫を学ぶ。
- 4 参加者4名  
越知幼稚園：園長、教諭  
越知保育園：園長、保育士
- 5 旅 程  
1月24日（金）離高、中央区立月島第三小学校  
1月25日（土）帰高

2：研修・視察を通して取り入れたい内容

<越知保育園 園長>

3月にも視察に行かせていただき、幼稚園と小学校が同じ建物内にあり、すぐに話ができて環境、授業や保育の様子もいつでも行き来できることが、連携にも大いにプラスであろうと感じた。しかし、そのような好条件の月島小・晴美幼稚園でも連携にはたくさんの課題もあったようだった。やはり、分かり合うためには話をする時間、理解しようという前向きな気持ち、あきらめずに伝えていく努力が必要なのだなと思った。

越知で考えると、近隣とはいえお互いに忙しい中、保幼小の時間を作ることに困難さを感じるが、持てる時間を大切に使いながら、来年度、連携を深めていければ・・・と思う。

今年度の接続カリキュラム部会では、今までそれぞれ別々にねらいを立てて行われていた連携活動について、保幼小それぞれがねらいを出し合い共有できたことが、良かったと思う。その活動で、どんな力を育てたいかということを理解しながら参加することで、その場の保育者や教師の子ども達に対する働きかけも違ってくると思うからだ。このようなことをこつこつ続けていくことで今後も理解を深めていきたい。

また現在、幼保の保育の中から小学校の授業にもつながっていく力について小学校の先生方に理解していただくため時間を割いていただくことも多かったが、月島小学校のように越知小学校の現在の傾向や上げたい力を聞き、幼小の時代から保育の中で意識し、育てていけるような取り組みもできればいいと思う。

来年度、指導に当たってくださる山下先生のお話は分かりやすく、パネルディスカッションの協議も興味深く聞かせていただいた。連携には時間もかかると思うが、ゆっくりでも子ども達のために少しずつ前進したいと思う。

### <越知保育園 保育士>

幼稚園、小学校が同じ施設内にあり、すぐに行ける環境であることから、3歳児から6年生までの交流活動がしやすいと感じた。また、別の組織という感じではなく、同じ組織の中で保育や授業を行っているような一体感があつた。教職員同士のつながりもできており、普段から話をするなど、お互いが歩み寄って連携しているようで、子どもの姿を理解できる環境下であると思った。

方向性が見えなかった連携が目的を明確にすることで機能するようになってきたと聞き、目的がないと何をやっても時間が過ぎていくだけで、子どもの為にはならないと感じた。9年間の学びをつなげていくためにも、ねらいを明確にすることは必要不可欠なことだと思った。6年生になって出てくる問題があるが、それは急に出てくるものではない。それまでの学年の時に気付いて改善しようとしたのかが大切であり、保育で育てていないところは小学校で育てていこうという姿勢がどの職員からも感じる事ができた。子どもの為の連携であるということを再度確認することができた。

### <越知幼稚園 園長>

幼児教育と小学校教育との接続では、子ども同士の交流はできているものの、カリキュラムの接続が十分であるとは言えない状況がある。また、遊びや生活を中心とする幼児教育と教科等の学習を中心とする小学校教育とでは教育の内容や方法が異なるため、スムーズな接続ができない状況がある。

段差のない接続を取り組むには、小学校で学ぶことや体験することを前倒しするのではなく、保育者と小学校の教員が連携をとり、園の先生が「今の学びがどのように育っていくのか」を小学校の先生は、「今の学びがどのように育ってきたのか」を共通理解することが重要だと思います。

そして、「10の姿」を参考にしながら育てたい子ども像の共有を図り、「何をどのようにつなげていくのか」を明確にし、保育と教育の連続性を高め質の向上を図っていき、接続を連続したものにしていけるように取り組んでいきたい。

### <越知幼稚園 教諭>

公開保育・公開授業を見学させてもらい、小学生の幼稚園児への対応が丁寧で優しい口調でかわっていて、普段から幼稚園と小学校が密に連携が取られているなと感じた。

幼稚園と小学校とが併設しているところが連携をとりやすい環境であったこともあるが、幼稚園・小学校が同じ研究主題、課題を考え進めていっているところが、より連携に繋がっていると感じた。また、対話を深めるために同じツールを使ったことが何を話していくか明確になったと分かった。

幼稚園と小学校との連携というと、年長児と一年生が連携していくように思っていたが、3歳児から6年生までの幼小9年間を見通しての連携をしていっていると知り、そうすることで、年長児の担任だけ1年生の担任だけではなく幼稚園・小学校全体で連携のことを考えていくことができるので良いなと思った。

また、パネルディスカッションでの先生方の話で、交流の指導案を立てている時に、幼稚園の教師が「今の子どもたちは、こんなことが好きだからこういうのはどうですか?」と具体的に提案したことで、小学校の先生も取り入れることができたと聞き、普段から足を運んでいるからこそ対等に話し合うことができ、より子どもたちのことが伝えられたのだと思った。

このように、先生自身が小学校の子どもたち、幼稚園の子どもたちのことを理解し知っていかなければいけないなと思った。そのためには、自分のクラスの子どものことを改めてよく見てかわり、なぜそうしたいのか、なにをしたいのかなど考え、子どもたちとかわっていきたいと思う。また、クラスの子どものことを伝えていける、知らせていけるような、発信をしていきたい。

**<越知保育園 園長>**

今回の視察は、研究発表の場ということもあり、公開保育や部屋の環境等は十分に見ることができないような状態ではあったが、室内の環境では、子ども達が製作をするのに十分な様々な道具や教材が用意されており、自園でも子ども達が自分の考えでいろいろな材料を選べるよう、さらに豊富な文房具や教材等の充実を図りたいと思った。

また、年長の公開保育では、子ども達の「同じ目的に向かって話し合い、考え、作っていく活動」が成されていた。しっかりと小学校を見据え、連携がとれている活動だと思った。子ども達が身に着けたい「10の力」の育成を意識された保育内容だった。育てたい力を意識しながら遊びの内容や環境を整えていくことの重要性を改めて感じた。そのために、来年度さらに保幼小の意識のすり合わせを大切にしていきたいと思った。

**<越知保育園 保育士>**

学びの系統性の明確化ができており、保幼小でねらいを統一することで、学びのつながりができていた。また、3歳児から6年生までの9年間を見通して育てていくことで、子ども一人ひとりの力を伸ばし、目指す子ども像を教職員が分かり合っている。

ねらいを統一して設定することで、それぞれの学年に応じた環境や指導内容になっていくと思うので、子どもの為にも取り入れることは良い内容だと感じた。年長児の担任として、小学校に行く前に子どもの姿を分かって欲しいと思うだけではいけない。分かってもらうための工夫として、園での遊びがどのような学びにつながっているのかを具体的に伝えることが大切であることが分かった。園では保育の中では分かる言葉でも本当の言葉の意味を知らせ、一般に使われている言葉に変えていくなど、日々の保育の中で就学前までにできることを取り入れて過ごしていきたい。

公開保育を見学させていただき、保育室の環境の中でペンや紙、テープなどの教材がたくさんあり、色とりどりに用意されていた。子どもが自分で好きな物を選んで使える環境を考えて自分の保育室を見直していきたい。また、子どもが主体的に活動できるような内容、援助をされていたので、保育者が出すぎないようにしていきたい。

**<越知幼稚園 園長>**

幼児期は、子ども達が健やかに育ち、生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要な時期であり、生活や遊びの中の直接的・間接的な体験を通して、社会で生きていくための基礎となる力を獲得していく時期である。

しかし、近年少子化の進行などを背景に子どもの育ちが大きく変化しており、基本的な生活習慣の欠如やコミュニケーション能力の低下、自制心や規範意識の希薄化などが課題となっている。このような中、小学校に入学した1年生が学校生活にうまく適応できず、困難を感じている子どもが増えている。このようなことから、幼児教育と小学校教育を円滑な接続を図り、一貫した取組みが今後求められると思った。

接続というと、5歳児後半から小学校1年生までを主として取組みがちだが、月島第三小学校・晴海幼稚園では、3歳児から小学6年生までの9年間の長いスパンで捉え、対話的な学びを重視した教育課程を見直し、実践・展開されてきたことに感化を受けると共に、幼児や児童の実態や課題を各園校の職員が共通理解し、職員同士の連携を図ってきたことで多くの成果が得られたのだと思う。

越知町でも各園校がそれぞれ保幼小接続期カリキュラムを作成し、保幼小交流活動も行っているが、今後更に充実させていき、これまでの取組んできたことを活かしつつ、育てたい子ども像の共有を図り、共に高め合う関係性を構築しながら質の向上を図っていけるようにしたいと考える。

**<越知幼稚園 教諭>**

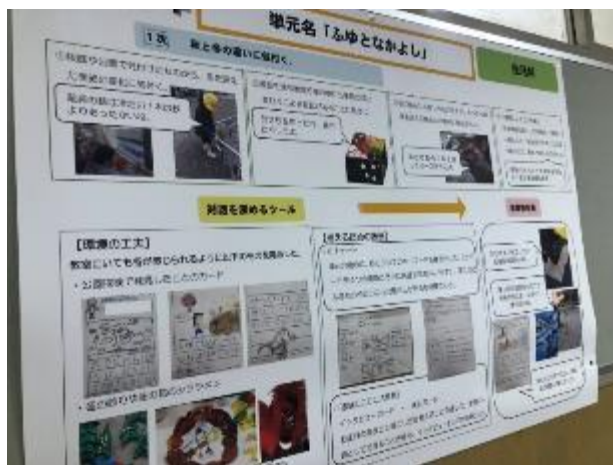
小学校との連携の部分で、日頃からお互いに足を運んで情報交換をするということをやっけていかなくてはいけないなと思った。また、小学校の先生に保育を見てもらい普段の子ども達の様子を知ってもら

ことや、こう育ってほしいからこの遊びをしているというねらいや内容も一緒に知ってもらうことが大切だと思う。

反対に、幼稚園の教師が小学校の授業を見させてもらい、どのような授業の流れなのか知ったり、どういことを学んでいるのか知ったりするということが大切だと分かった。

幼小交流の指導案には、保育者の援助や環境構成が小学校ではこんなことに繋がるということも記載しておく小学校の先生にも伝わると分かったので、取り入れたいと思う。

また、小学校と交流したことでその後、園でこんな遊びに広がった、小学生のこんな姿に憧れの気持ちをもったということをお小学校に伝えていきたい。



16. 今後に向けて（展望・取組など）

## 保幼小連携・接続推進支援事業【2年間】



これまでも保育園、幼稚園、小学校の連携を行ってきたが、第Ⅰ期は毎年、決まった計画に沿って、同じことを繰り返している停滞期にあったと言える。

昨年度より2年間、「保幼小連携・接続推進支援事業」の指定を受けた。幼保支援課、中部教育事務所の支援により、令和元年度は、現状と課題の把握、連携推進体制の見直し、接続期カリキュラムの作成、実践発表や報告書冊子による情報発信など、新たな取組を進めてきた。

2年目となる今年度は、連携推進体制の整備、接続期カリキュラムの改善、スタートカリキュラムの編成、保育・授業実践など行っており、保幼小連携・接続推進支援事業の取組を通して、連携の意識を高めることができた改革期【第Ⅱ期】と位置付けた。

11月には津野町教育委員会、幼保連携型認定こども園を視察訪問し、これからの越知町の保育園・幼稚園再編の方向性や、幼児教育の充実に向けた支援体制、越知町の教員、保育士の意識改革のための園内研修計画について学んだ。

指定事業を終える来年度以降には、これまでの成果や課題をもとに、幼児教育担当の配置による連携体制を確立することや、外部アドバイザーによる幼児教育研修の充実、計画的な園内研修の実施、保幼小連携推進部会を中学校にまで拡充するなど、さらなる連携を推進してための発展期【第Ⅲ期】と考えている。

また、保護者との連携に向けた取組も重要であり、専門家による小学校入学式保護者講演会、就学時健診保護者講演会の実施、積極的な保育参加体制の整備、SC、SSWによる個人懇談や相談できる体制を構築していく。

日付	内容	講師
10月18日(水)	11期 保幼小連携推進部会 第1回	幼保支援課
12月1日(水)	12期 保幼小連携推進部会 第2回	有田 尚美先生
12月4日(土)	5歳児研究保育・ブロック研 1歳児研究保育(園内研)	伊藤まり先生
1月15日(金)	1年の振り返り・ブロック研修のまとめ	幼保支援課
2月9日(火)	次年度に向けて	有田 尚美先生 田村 興知先生



これからの越知町の保幼小中連携教育について考えてみる。0歳から15歳までの子どもたちの発達や学びを円滑に連携接続するためには、「生きる力の基礎を育む土台」となる連携の根幹部分が重要である。

基本的な生活習慣や規範意識、探究心や好奇心、豊かな創造性を育むために、保幼小合同研修会で協議した課題や手立てを参考に、保幼小中・家庭・地域ができる具体的な取組を以下のように整理してみた。

令和3年度は、特に「教職員の意識改革」に重点を置き、教育委員会事務局に幼児教育担当者の配置、年間6回程度の幼児教育アドバイザー招聘による計画的な園内研修、保幼小合同研修会の実施により、連携教育を推進していく。

#### (1) 教職員の意識改革

- ・ 幼児教育アドバイザーを招聘し、計画的な園内研修を実施していく。
- ・ 教育委員会に幼児教育担当を配置し、保幼連携や幼児教育研修を充実させる。
- ・ 計画的な園内研修を実施し、保育士・教員の意識改革を図る。
- ・ 保幼小連携を中学校にまで拡充し、0歳から15歳までを見据えた連携を推進していく。

#### (2) 開発的・予防的な生徒指導

- ・ 鳴門教育大学教授 久我直人先生を招聘し、安全・安心な居場所づくりの構築をしていく。
- ・ SSW・SCとのプレカウンセリングと児童面談、保護者相談を計画的に実施する。
- ・ 組織的な未然防止対策と早期支援体制を構築する。
- ・ 生活リズム調査の分析、基本的な生活習慣を確立するための研修を実施する。

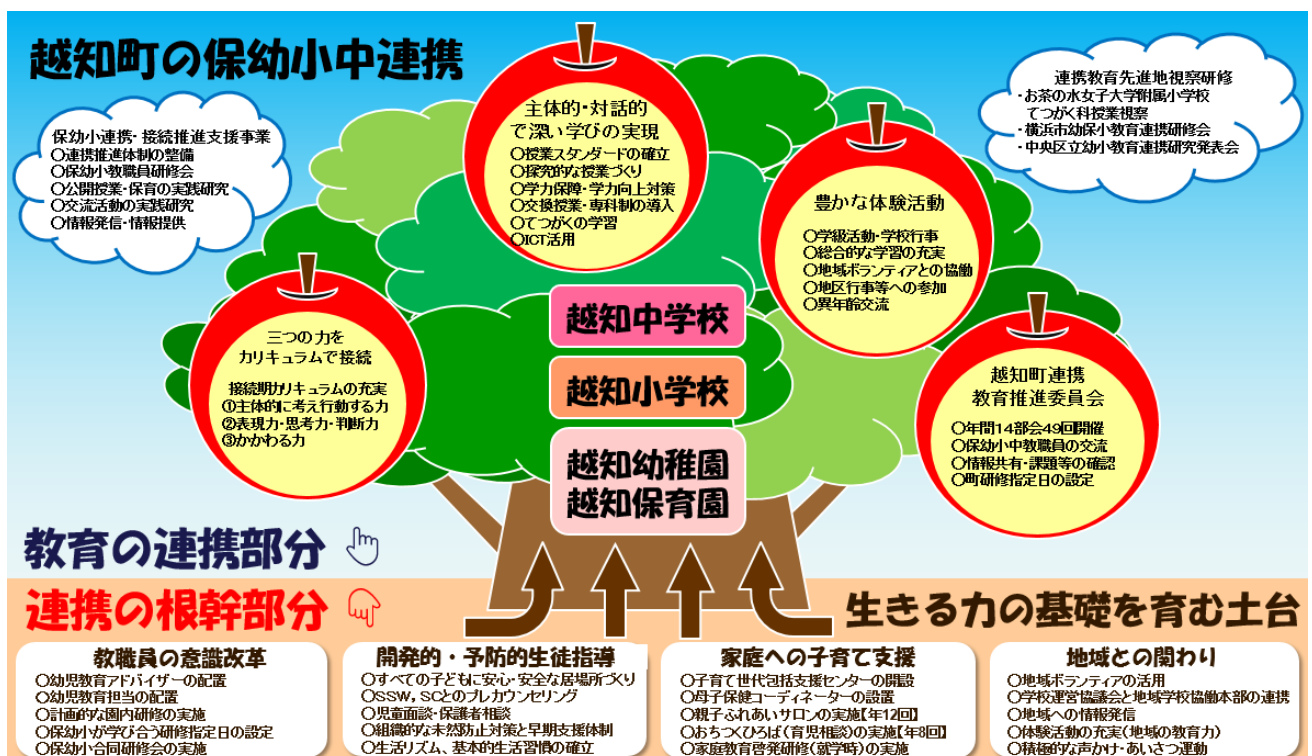
#### (3) 家庭への子育て支援

- ・ 越知町子育て世代包括支援センターと情報を共有する。
- ・ 保幼小中の教育活動に、地域や保護者も参加できるカリキュラムを計画する。
- ・ 家庭教育啓発のための講演会（小学校入学式・就学時）を継続していく。

#### (4) 地域との関わり

- ・ 学校運営協議会と地域学校協働本部との連携を図る。
- ・ 地域ボランティアを有効に活用して、体験活動を充実させる。
- ・ 児童会生徒会活動と地域の活動と連動させ、活動の場を保育園・幼稚園に広げる。
- ・ 学校通信、ホームページでの情報発信していく。

### これからの保幼小中連携のビジョン

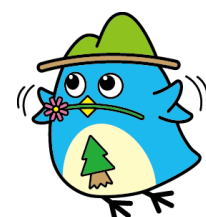


## 17. 「保幼小連携・接続」に関するアンケート結果

令和元年度 子どもの育ちと学びをつなぐ「保幼小連携・接続」に関するアンケート(7月)				
	越知小1年保護者数	17		
<b>1. 小学校へ入学する前、どのようなことが気になりましたか。(複数回答可)</b>				
①起床時間、早寝・早起き・朝ご飯などの規則正しい生活習慣	7	41.2%		
②勉強についていけるか	14	82.4%		
③運動についていけるか	3	17.6%		
④45分の授業に参加できるか	6	35.3%		
⑤学校の決まりを守れるか	5	29.4%		
⑥給食	5	29.4%		
⑦学校行事	2	11.8%		
⑧クラスなどの集団生活	6	35.3%		
⑨先生との関わり	2	11.8%		
⑩友達同士の関わり	10	58.8%		
⑪登下校の安全	9	52.9%		
⑫学校の教育目標や方針	2	11.8%		
⑬学校の防犯・防災対策	3	17.6%		
⑭保護者と先生・学校との関係	1	5.9%		
⑮保護者同士の関係	4	23.5%		
⑯その他	0	0%		
⑰気になったことは特にな	2	11.8%		
<b>2. 1学期も終わりますが、今のお子さんの様子をお聞かせください。</b>				
	ある (できる)	ややある (ややできる)	あまりない (あまりできない)	ない (できない)
①学ぶ意欲や物事への関心はありますか	8	8	1	0
	47.1%	47.1%	5.9%	0%
②文字や数への関心はありますか	9	6	1	0
	52.9%	35.3%	5.9%	0%
③規則正しい生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯等)は身に付いていますか	6	10	1	0
	35.3%	58.8%	5.9%	0%
④自分のものを整理整頓したり、適切に身支度をする等、身の回りのことを自分ですることはできますか	6	8	2	1
	35.3%	47.1%	11.8%	5.9%
⑤あいさつや返事はできますか	9	6	2	0
	52.9%	35.3%	11.8%	0%
⑥周囲の人とコミュニケーションをとることはできますか	11	6	0	0
	64.7%	35.3%	0%	0%
⑦危ないことをしない、交通ルールを守るなど安全に行動することはできますか	8	9	0	0
	47.1%	52.9%	0%	0%
⑧きまりや約束を守ることはできますか	9	7	1	0
	52.9%	41.2%	5.9%	0%
⑨人の話を静かに聞いたり、物事にじっくり取り組む等、集中して何かに取り組みますか	9	7	1	0
	52.9%	41.2%	5.9%	0%
⑩学校へは楽しく通うことができますか	13	4	0	0
	76.5%	23.5%	0%	0%
⑪学校での生活を家で話すことはありますか	14	3	0	0
	82.4%	17.6%	0%	0%



	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない
3. 高知県では、保育所・幼稚園と小学校との連携（保幼小連携・接続）を推進していますが、この取組は、子どもが健全に育つために重要だと思われませんか。	13	4	0	0
	76.5%	23.5%	0%	0%
4. 「保幼小連携・接続」について、ご意見をお聞かせください。				
<p>●非常に重要だと思います。 年齢を超えて関係を築く事で、子どもの健やかな成長を全体で見守ることができるので保護者としても安心できます。</p> <p>●今年の4月より県外より引越してきた為、どのような事が行われてきたのか、分かりませんのでコメントできません。</p>				
アンケート分析とその後の対応について				
<p>1 ① 遅刻も無く、規則正しい学校生活が送れてる。朝ごはんも全員しっかり食べており、授業中など眠気に襲われるような児童はいない。夜遅くまでテレビを観ている児童もいるようなので、今後も日々の様子を観察したり、生活リズム表でチェックをしていく。</p>				
<p>1 ② 入学前は随分心配されている保護者も多くいたが、1学期の面談では保護者から相談されることはなかった。学習面で5～6名ほど課題のある児童がいるので担任から話している。夏休みにセカンドスクールで登校し補習はしたが、定着は難しく今後も個別に対応していく必要がある。</p>				
<p>1 ⑩ 保育園から入学した児童は、自分の思いや考えをはっきりと言える児童が多い。園でも毎日のようにトラブルがあり、心配される保護者が多いのではないかとと思われる。幼稚園から入学した児童は、内気な児童が多く、クラスの人数が増えることや、地域や保護者間での事前の情報やうわさなどから、不安に感じていた保護者もいたのではないかとと思われる。⑧の集団生活や⑨の保護者同士の関係の結果にも表れているのではないかと推測できる。入学当初、登校渋りなど心配もみられる児童もいたが、今は集団にもなじんで元気に登校できている。</p>				
<p>1 ⑪ 心配されていた保護者が半数を超えているが、具体的に相談されたことは無く、今のところ登下校時の事故や問題は起こっていない。おそらく、通学路が変わることや、道が狭いところがあったり、車の通行量が多く歩道がない場所があるからだと思われる。今後も学校たより学級通信などで注意喚起していく。</p>				
<p>2 ④ 教室でも気になる児童が多い。家庭での準備や片付け、着替えなど保護者が手を足し過ぎではないかと感じる。教室のロッカーや机周りなど、まずは身の回りから自分で整頓できる習慣を身につけさせていきたい。</p>				
<p>2 ⑤ 学校では全員がよくできている。学校と家庭とでは違う児童もいるのではないか。</p>				
<p>4 「保幼小連携・接続」については、昨年度、交流活動を通じて関わってこられた保護者の方はよく理解されている。転入してこられた2名の保護者の方に伝わっていない。6月11日に行った公開授業の様子は学校たよりでもお伝えしている。これからの交流活動なども学級通信などでお知らせしていく。</p>				



令和2年度 子どもの育ちと学びをつなぐ「保幼小連携・接続」に関するアンケート(7月)

		越知小学校 保護者数			25
		ある (できる)	ややある (ややできる)	あまりない (あまりできない)	ない (できない)
<b>1. 1学期も終わりますが、今のお子さんの様子をお聞かせください。</b>					
①学ぶ意欲や物事への関心はありますか		11 44.0%	12 48.0%	2 8.0%	0 0%
②文字や数への関心はありますか		11 44.0%	11 44.0%	3 12.0%	0 0%
③規則正しい生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯等)は身に付いていますか		9 36.0%	14 56.0%	2 8.0%	0 0%
④自分のものを整理整頓したり、適切に身支度をする等、身の回りのことを自分ですることができますか		4 16.0%	16 64.0%	5 20.0%	0 0.0%
⑤あいさつや返事はできますか		9 36.0%	14 56.0%	2 8.0%	0 0%
⑥周囲の人とコミュニケーションをとることはできますか		12 48.0%	12 48.0%	1 4.0%	0 0%
⑦危ないことをしない、交通ルールを守るなど安全に行動することはできますか		9 36.0%	11 44.0%	5 20.0%	0 0%
⑧きまりや約束を守ることはできますか		8 32.0%	13 52.0%	4 16.0%	0 0%
⑨人の話を静かに聞いたり、物事にじっくり取り組む等、集中して何かに取り組めますか		7 28.0%	11 44.0%	5 20.0%	2 8%
⑩学校へは楽しく通うことができていますか		11 44.0%	9 36.0%	5 20.0%	0 0%
⑪学校での生活を家で話すことはありますか		18 72.0%	6 24.0%	0 0.0%	1 4%
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない
<b>2. 高知県では、保育所・幼稚園と小学校との連携(保幼小連携・接続)を推進していますが、この取組は、子どもが健全に育つために重要だと思われるか。</b>		17 68.0%	7 28.0%	1 4.0%	0 0%
<b>3. 「保幼小連携・接続」について、ご意見をお聞かせください。</b>					
<p>○保育園・幼稚園から小学校へ通学するにあたり、大きく環境変化する為、可能な限り子どもたちの精神面に気を使っ ていただきたいと思います。</p> <p>○保幼の先生、小学校の先生への引き継ぎの徹底をお願いしたいです。</p> <p>○人の話を聞く、時間を守るなどは、保育園・幼稚園の頃からしっかりしておくべきだと思います。のびのび育てるとい うのもいいかもしれませんが、基本的なことは家庭でできるようにしてから外へ出すべきだと思います。</p>					

アンケート分析とその後の対応について

- 1 ④ 入学当初には、机、ロッカー周りの整理整頓ができない児童が多く、学習規律の1つとして指導を徹底して行った。また、自分だけではなく、友達のことにも気をかけ注意し合える関係性、そして、清掃の時間では、教室はいつもきれいに落ち着いて学習できる環境としての意識をもたせている。
- 1 ⑦ 話が聞けない、聞いていないことが気になっている。自分の感情のままに行動してしまうことが多いため、予測不可能であった。毎日のように全体で話を聞く姿勢、態度、状態について話し合いを継続したり、関連するビデオ視聴を通して交通安全に関する基本的な知識を学習してきた。
- 1 ⑧ きまりや約束を守る大切さが理解できていないことや、相手の気持ちが考えられないことに課題がある。日々の学校生活での出来事や、道徳の授業を通してきまりや約束を守ることの大切さを考えたり、相手の気持ちを考えるソーシャルスキルを身に付ける手立てを行ってきた。
- 1 ⑨ ⑦とも関連するが、人の話を聞けなかったり、集中して何かに取り組むことができない児童が多い。集中力も持続しないため、スモールステップで、途中で確認、評価を挟みながら最後まで取り組める手立てを考える。たくさん認められたり、褒められることで、次につながる意欲を高めていく。
- 1 ⑩ 新型コロナウイルス感染拡大との関係が考えられる。入学当初の関わりが十分に持てなかった。また、お互いに密になる関りや活動ができなかったので、心と心で関わられるような楽しく取り組める活動を取り入れていく。
- 3 ○ 入学に関して、環境が大きく変わるため、生活、学習においてゆるやかな接続を意識してきた。コロナウイルスによる休校期間も長かったため、SCやSSWと連携して、日々の生活の様子や変化に気をつけてきた。  
○ 前年度3月末には、保幼小連絡会で、一人ひとり丁寧に情報交換を行った。



令和2年度 子育てに関する保護者アンケート結果

4 よくあてはまる	3 あてはまる	2 あまりあてはまらない	1 あてはまらない
-----------	---------	--------------	-----------

5月集計（1回目）

(人)

項目	内 容	4	3	2	1
①	お子さんの規則正しい生活習慣を心掛けていますか	16	26	8	0
②	お子さんの話を最後まで聞いてあげていますか	12	32	7	0
③	お子さんが自分のことを自分でできるように見守っていますか	13	27	8	0
④	お子さんと一緒に食事ができていますか	35	13	1	0
⑤	お子さんとのスキンシップを大事にしていますか	28	20	2	0
⑥	お子さんを叱ったあとのフォローはできていますか	18	25	7	0
⑦	お子さんは十分に体を動かして遊ぶ経験をしていますか	20	23	7	0
⑧	お子さんと一緒に遊ぶ時間が十分とれていますか	10	29	11	0
⑨	ゲームや携帯電話は、時間を決めて使用させていますか	16	21	10	3
⑩	ほめることを意識した関わり方ができていますか	14	32	4	0

9月集計（2回目）

項目	内 容	4	3	2	1
①	お子さんの規則正しい生活習慣を心掛けていますか	23	22	3	0
②	お子さんの話を最後まで聞いてあげていますか	13	30	7	0
③	お子さんが自分のことを自分でできるように見守っていますか	15	25	7	0
④	お子さんと一緒に食事ができていますか	38	8	2	0
⑤	お子さんとのスキンシップを大事にしていますか	30	16	2	0
⑥	お子さんを叱ったあとのフォローはできていますか	24	21	3	0
⑦	お子さんは十分に体を動かして遊ぶ経験をしていますか	26	16	6	0
⑧	お子さんと一緒に遊ぶ時間が十分とれていますか	16	18	14	0
⑨	ゲームや携帯電話は、時間を決めて使用させていますか	12	21	13	2
⑩	ほめることを意識した関わり方ができていますか	20	22	6	0

1月集計（3回目）

項目	内 容	4	3	2	1
①	お子さんの規則正しい生活習慣を心掛けていますか	18	20	4	1
②	お子さんの話を最後まで聞いてあげていますか	13	25	5	0
③	お子さんが自分のことを自分でできるように見守っていますか	16	22	5	0
④	お子さんと一緒に食事ができていますか	35	7	0	1
⑤	お子さんとのスキンシップを大事にしていますか	28	13	1	1
⑥	お子さんを叱ったあとのフォローはできていますか	19	23	1	0
⑦	お子さんは十分に体を動かして遊ぶ経験をしていますか	20	18	5	0
⑧	お子さんと一緒に遊ぶ時間が十分とれていますか	14	14	14	1
⑨	ゲームや携帯電話は、時間を決めて使用させていますか	17	11	11	4
⑩	ほめることを意識した関わり方ができていますか	11	29	3	0

感じたこと、お気づきになったこと、要望等、ご意見をお聞かせ下さい。

自由記述欄（5月）

- ・なかなかゆっくり一緒に遊ぶことが出来ていないと感じました。（幼稚園）
- ・もっと一緒に色々なことを楽しんでやっていきたいと思います。（幼稚園）
- ・ゲーム、携帯はさせていません。NHKの子供番組等、時間を決めて観させています。（保育園）
- ・つい感情的になってきつい言葉を使ってしまうことがあり、子どもの自尊心を傷つけてしまっているのではと後で反省しています。（小学校）

自由記述欄（9月）

- ・一緒に遊んであげたいという気持ちはありますが、十分な時間はとれません。（保育園）
- ・今後の施策等、どんなことに活かされていくのか結果を含めて知りたいです。（保育園）
- ・よく見て見てと言ってくるが、毎回は向き合えていない。（幼稚園）
- ・ゲームについて制限しないと長時間し続けてしまうと思います。親の監督の下でプレイすることが望ましいです。何かのトラブルに巻き込まれる可能性もあるため注意が必要です。（小学校）

自由記述欄（1月）

- ・時間に追われて十分かまってやることができないのが現状です。小学校になると更にスキンシップや規則正しい生活を送れるか心配である。（保育園）
- ・一緒に遊ぶ時間がなかなかとれなかったり、話をうわのそらで聞いていたりすることが多くなった。子どもとしっかりと向き合えるようにしていきたいと思います。（幼稚園）
- ・できるだけ会話をするようにと思いつつ、話しかけてきても「また後で聞くね」と言っていることが多いです。（小学校）
- ・あまり手をかけ過ぎず、自分でできることは自分で、今までやったことのない場合も見守るように心掛けています。少しずつ自分で諦めることなく頑張れるようになってきていると思います。（小学校）
- ・叱ることも必要だと思います。先生の話听不懂な子や、注意を聞けない子がたくさんいると子どもが言っています。（小学校）

令和2年度に実施した子育てに関する保護者アンケートには、年度当初に保育園長、幼稚園長、小学校長が協議をし、課題に感じていること、家庭で保護者に大切にしてほしいことを項目内容に入れた。

年3回のアンケートをすることで、子育てに関して保幼小教職員と保護者の共通理解を図ること、1年間を通して結果の変化を読み取ること、そして、自由記述欄では保護者の率直なご意見を参考に、保幼小中合同研修会における協議内容や、保護者対象講演会の時期・回数・講師決定、親育ち支援を含む園内研修計画など、これからの越知町の保幼小中連携に向けての取組に活かしていく。

## 18. 添付資料

### (1) 令和2年度 保育体験研修 実施要項

- 1 目的 保育園から小学校への子どもの「滑らかな接続」を図るために、小学校教員が保育園へ行って園児の遊びの姿や保育士の支援の在り方等を学び、それぞれの教育がつながっていることを理解し、小学校での指導に活かす。
- 2 日程 令和2年8月21日(金) 8:15~12:15
- 3 実施場所 越知保育園 5歳児クラス
- 4 対象者 保幼小連携推進部会 小学校担当者2名  
井上先生[1年担任]・飯田先生[養護教諭]
- 5 準備物 プール活動用服装、着替え、ご飯・給食代(200円)  
上履き、帽子、タオル、水筒等
- 6 体験プログラム

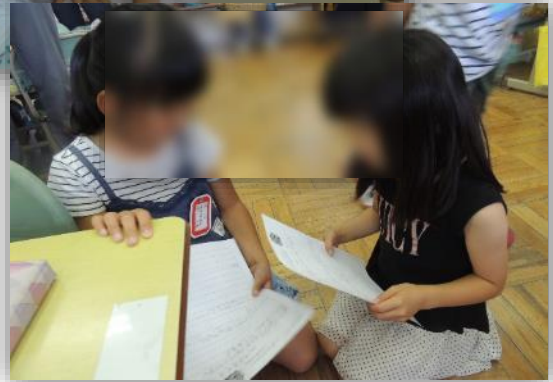


時間	子どもの活動	保育者体験内容	備考
8:15		・オリエンテーション	・園長
8:30	登園 持ち物の片付け 好きな遊び	・保育士の受け入れの様子を見る ・持ち物の片付けの補助 ・子ども達と活動 ・子ども達の遊びの様子を見ながら、一緒に遊ぶ。	・一緒に遊びながら、集団と個への関りを知る
10:00	プール準備 体操	・片付け・排泄・着替えの補助 ・一緒に体操や踊り(準備体操)	
10:45	プール遊び	・危険のないよう見守る ・活動に参加する	
11:20	プール終了 着替え 排泄・手洗い 給食準備	・配膳準備、補助	
11:40	給食 片付け・歯磨き	・一緒に給食を食べる ・昼食片付け ・子どもの見守り	・
12:00	好きな遊び 午睡の準備 (排泄・着替え)	・布団敷き・着替えの補助 ・片付け・排泄	
12:15		・懇談	・給食終了後、園長と懇談

(2) 就学時検診リーフレット

4月から小学生になるお子さんをもつ保護者の皆様へ

# 安心して入学を迎えるために



## お子さんの良さや可能性を伸ばしていきましょう

### 話を聞きましょう

話をしっかり聞いてあげることは、安心感を育みます。経験を重ねていくことで相手の話も受け止め、言葉を通して相手と心を通わせる心地よさに気づいていきます。

### 褒めてあげましょう

子どものやりたい気持ちを大切にし、自分の力でやり遂げられるように応援することで、自信や自己肯定感を育てていきます。やり遂げたら褒めてあげましょう。

### 見守りましょう

失敗を乗り越えたり、思い通りにならないことに折り合いをつけたりする経験は、子どもさんにとって成長できるチャンスです。時には、そっと見守ってあげましょう。

# スタートカリキュラムを取り入れます！

スタートカリキュラムとは、小学校へ入学した子どもさんが、幼稚園、保育園での遊びや生活を通した学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラムです。

## 自立

やりたいことにチャレンジするよ。

- 自分で考え、判断し行動するようになり、子どもの自立につながります。
- 6年間の学びの基盤をしっかりとつくることができます。
- 夢や希望をもち、前向きに生活していくことができます。

考えたことを発表したい。

## 成長

友達と力を合わせるといろいろなことができる。

- 活動や体験を通して、学びに向かう力を育むことができます。
- 安心して生活することで、自分のもっている力を発揮することができます。
- 先生や友達に認められることで、自信や意欲が生まれます。

お勉強って楽しいな。

## 安心

一人でできるようになったよ。

- 幼稚園・保育園の生活に近い活動を取り入れるので、安心して学習に取り組むことができます。
- 分かりやすく学びやすい環境を構成することで安心して学校生活を送ることができます。
- 安心や楽しさが生まれ、小学校生活の支えとなり小学校生活をスタートすることができます。

優しいお兄さんやお姉さんがいるよ。

心配だったけど、学校って楽しいな。

幼稚園・保育園  
学び・育ち

友達ができたよ。

### 幼児期の終わりまでに育てほしい姿

健康な心と体

自立心

共同性

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

思考力の芽生え

自然との  
関わり

数量や図形、標識や文字などへの関心感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現



# すこやかな子どもの成長のために

学校探検



話し合い活動



お芋植え



教科等を通じた学び

## 小学校入学

幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図る「スタートカリキュラム」を行います。幼児期に身に付けた力を発揮して、安心して学校生活をはじめ、主体的に学びに向かう力を育みます。

フラフープ交流



保幼小交流会



小学校一日入学



円滑な接続

遊びを通じた学び

おもちゃフェスティバル

## 幼児教育

幼児期の子どもは、遊びの中で生活に必要な知識や技能を身に付け、思考力の目を培い、ルールの大切さや思いやりや思いやりの心を育てていきます。

## 幼児期の終わりまでに育てほしい姿

健康な心と体

自立心

共同性

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

思考力の芽生え

自然との関わり

数量や図形、標識や文字などへの関心感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

## あいさつ

家族や身近な人と関係をつなぐ大切な一歩があいさつです。周りの大人があいさつをしていると子どもも自然にあいさつができるようになります。

## 生活習慣

早寝・早起き・朝ごはんは、子どもが生き生きと生活する源です。生活リズムを整え、健康な心と体を育みます。

家庭で育まれる信頼感・安心感が生涯にわたる生きる力の基盤となります

家庭と園、学校、地域が共に子どもの成長を支えます



# 1年生入学当初の学校生活

朝の会 読書タイム 1校時	<ul style="list-style-type: none"><li>• 元気に過ごせるように健康チェックをします。</li><li>• 紙芝居や絵本をよみきかせしてくれます。</li><li>• 手遊びや歌、ゲームなどふれあいの時間をすごします。</li></ul>
2校時から 4校時	<ul style="list-style-type: none"><li>• 生活科を中心とした合科的な学習をしていきます。</li><li>• 自分たちでやってみたいことを話し合ったり、学校探検をしたりしていきます。</li><li>• 国語や算数のお勉強も取り入れます。</li></ul>
給食 お昼休み 掃除	<ul style="list-style-type: none"><li>• 給食センターから運ばれてきた給食を栄養教諭の先生と一緒に準備します。</li><li>• 1年教室前の南庭で思いっきり遊びます。</li><li>• 縦割り班で、2年生から6年生のお兄さん、お姉さんと一緒にいろいろな教室を掃除します。</li></ul>
ステップタイム 5校時 下校	<ul style="list-style-type: none"><li>• お友達や先生とお話タイムを取ります。</li><li>• お帰りの準備が自分でできるようにしていきます。</li><li>• 入学当初の下校は、安全に気を付けて帰ることができるように配慮します。</li></ul>

## 1年生で学習する教科

国語 算数 生活 体育 音楽 図工 特別活動 特別の教科道徳 外国語活動

### 生活する力

- 安全な登下校の方法を知り、通学する。(登下校時刻)
- 1日の流れを知り、時間割に沿って生活する。
- 授業に間に合うように着替えたり、移動したりする。
- 小学校の生活の場に慣れ、安心して過ごす。
- 持ち物や共同の物の片づけ方を知り、丁寧に使う。
- 給食配膳をし、好き嫌いなく楽しく給食を食べる。

### かかわる力

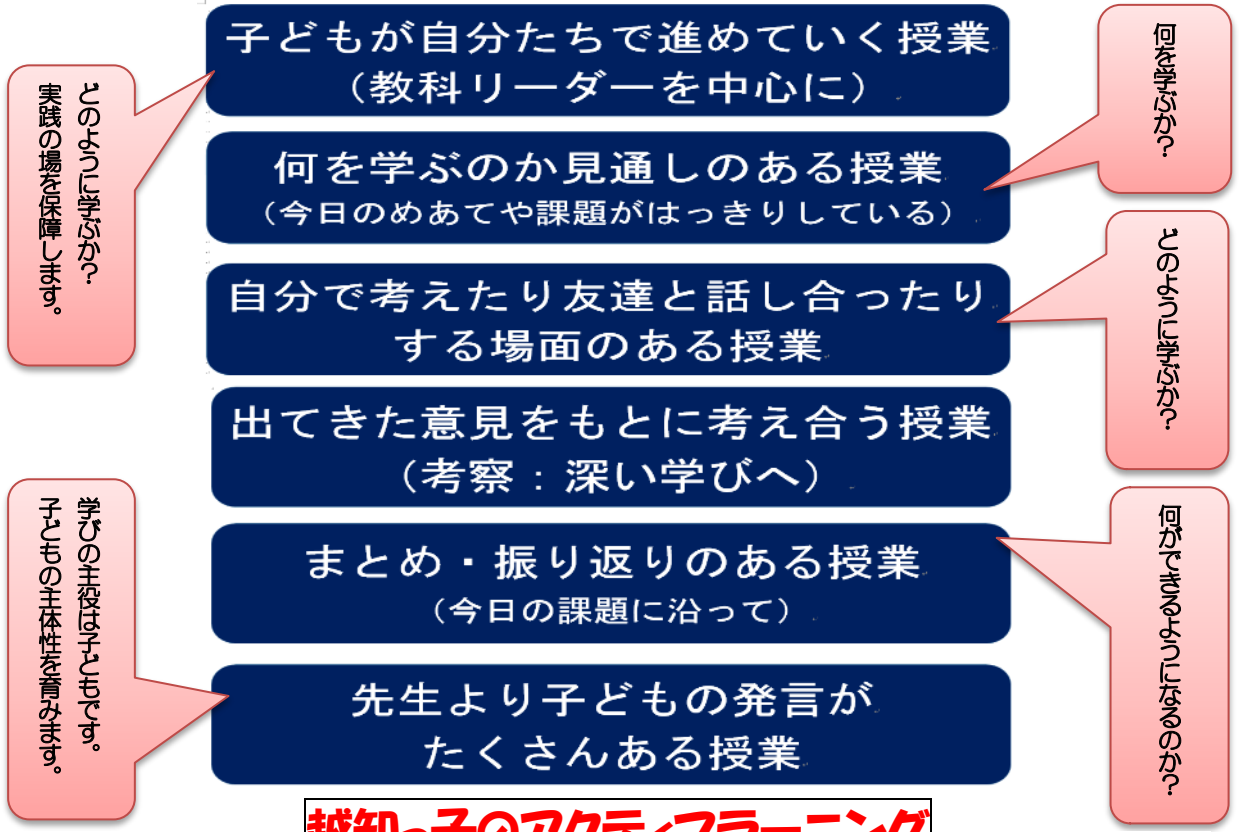
- 友達や先生、地域の人に気持ちの良いあいさつをする。
- 素直に「ありがとう」や「ごめんなさい」を伝えることができる。
- 学習するためのルールを知り、気持ちのよい学校生活を送る。
- 困っている友達がいたら、声をかけることができる。
- 安全の約束やきまりを守って行動する。

### 思考力・判断力・表現力

- 学習の中で発見や分かる、できるようになる喜びを味わう。
- 友達や先生と対話する中で一緒に考え、気づき、それをことばでつなげていく。
- ことばや絵、写真などを見たり、書いたりして自分の考えを伝える。
- 学習したことについて、思ったことやできるようになったことを振り返る。

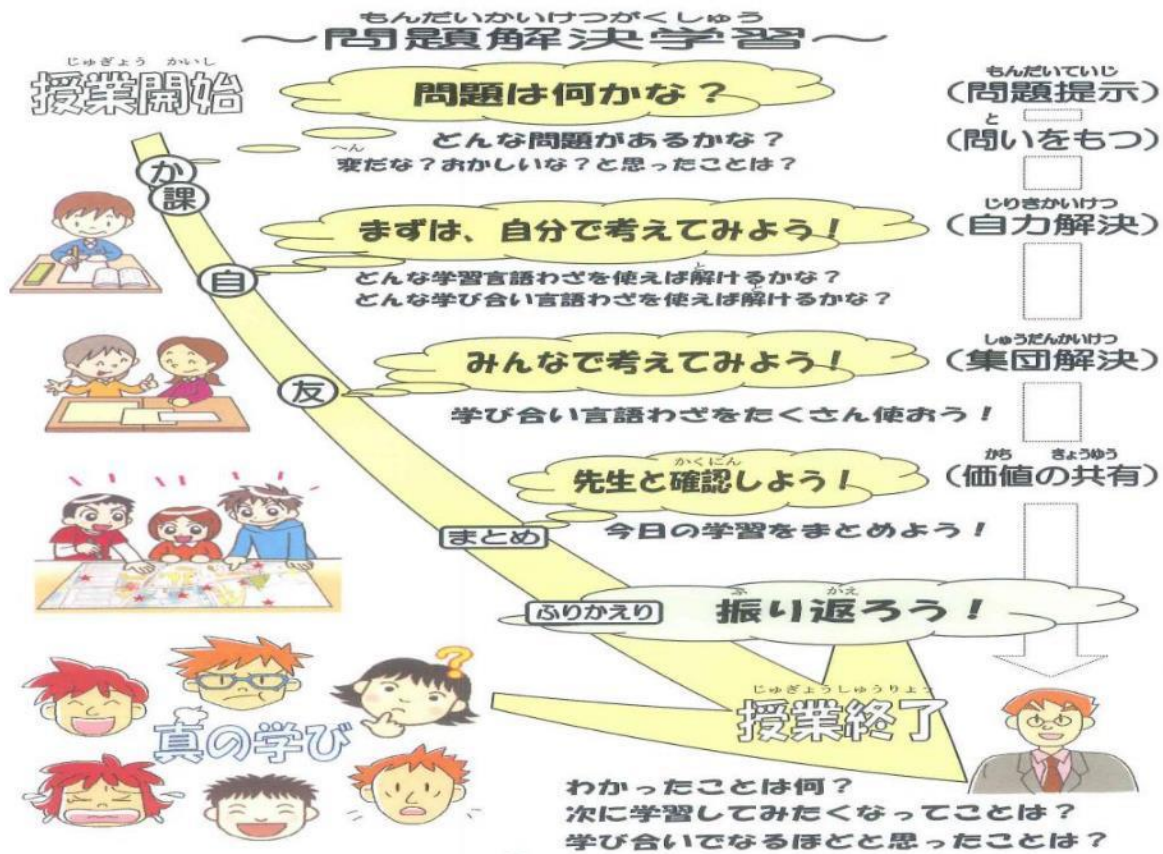
身に付けた具体的な内容

# 越知小は、こんな授業をめざしています！



## 越知っ子のアクティブラーニング

### I 先生にたよらず、自分たちで学ぶ方法



# 入学までのお願い

## 1 生活について

- (1) 自分の名前が言え、元気に返事やあいさつができるようにしましょう。
- (2) 自分で服を脱いだり、着たりできるようにしましょう。
- (3) 自分の持ち物の整理が自分でできるようにしましょう。
- (4) 給食を食べる時間は、20分間位です。20分間位で食事を終われるようにしましょう。好き嫌いなく食べましょう。
- (5) 学校は、水洗トイレです。一人できれいに使えるようにしましょう。ズボンを全部脱がずに大便ができるようにしましょう。  
(和式トイレも上手に使えるようにしよう。)
- (6) 基本的な生活習慣を身につけておきましょう。
  - ・洗顔、歯磨き、食事の前の手洗いを毎日きちんととする。
  - ・毎朝、排便をする。
  - ・朝食を必ず食べる。
  - ・早寝、早起きをする。(睡眠時間は、10時間位必要です。)



早寝、早起き！  
9時までに寝る。



おはよう。あいさつは  
大きな声で。



進んで、お手伝いや  
仕事をしましょう。



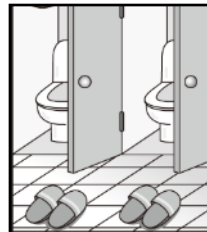
朝ご飯をしっかりと  
食べましょう。



手洗い、うがい  
歯磨きができる。



水で顔を洗う  
ことができる。



朝、うんこを出  
して来ましょう。



20分位で食事を  
終わることができる  
ようにしよう。

## 2 安全について

- (1) 通学路を覚えて、一人で登下校できるようにしましょう。  
(お子様と一緒に、必ず何度か歩いて、往復しておいてください。横断歩道の正しい渡り方、安全な歩き方など、実際に歩きながら教えてあげてください。)
- (2) 困ったときのために『アンパンマンの家』の確かめをしておくとう安心です。

## 3 学習について

- (1) 鉛筆の正しい持ち方ができるように、声かけをしてください。  
(癖になってしまうと、なかなか直りません。プリントを参考にしてください。)
- (2) 自分の名前を読み書きができるように、少しずつ練習してください。  
(入学後すぐにプリントなどに自分の名前を書くことが必要となってきます。)

## あたまとからだがよく働くために大切なこと

### 朝食を大切に

朝食を抜くと、脳の働きに重大な影響があります。朝食は、エネルギーです。体温維持にもなります。パンだけでなく、おかずも食べましょう。



### 朝の排便を習慣づけましょう

「おなかがいたい。」という人も、便を出せばケロリと直ることが多いです。便がたまると、食欲がない、頭痛、腹痛、おなかがはる、ぼんやりする、イライラする、不安感、肩がこる、集中できない、落ち着きがない、口臭等があらわれてきます。便が出ると、心も体も軽く、気持ちもさわやかです。朝、トイレに行く習慣を付けると、その時間になると出るようになります。



### 睡眠を大切に 朝はゆとりをもって

なぜ睡眠は大切なのでしょう。

☆ 脳が休まる ☆ 体の発達を助ける成長ホルモンが出る

☆ 体の免疫の働きを活発にし、病原菌から体を守るのを助ける

子どもを親の時間に合わせるのではなく、子どもは、9時には寝るようにしてあげてください。そして、6時30分から7時には起きましょう。目が覚めて、頭が働くようになるためには、2時間必要です。学校の始まりは、8時15分です。



### 遊びを大切に

小さいときには、十分遊びこんだ子どもは、たくましいからだとかしい知恵が備わります。手足を使って自然の中で走り回ったり、跳んだりはねたりしながら、不思議を見つけて考えたり、発見したり、新しい物を作り出したりと生活経験を広げます。また、友達と遊ぶことによって、社会性や、ものの考え方が培われます。そして、自分の主張もでき、あるときは「がまん」できるような自主性や協調性が育ちます。



### 電子メディアと上手につきあおう

子どもたちは楽しいものに夢中になり、他のことが考えられなくなってしまうことがあります。ゲーム機やタブレット、スマートフォンなどを使いすぎると脳や健康に害をおよぼします。家庭でゲームやタブレットなどの使い方のきまりを作り、それを守る心ができる心を育てていきましょう。子どもの心身の健康作りのためにメディアコントロールをし、家族団らんの時間を大切にしていましょ

## 気をつけましょう

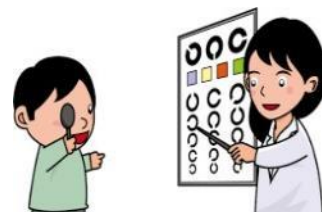
- (1) 机といすの適正
- (2) 部屋の明るさ
- (3) 姿勢
- (4) テレビと目の距離
- (5) テレビ、ビデオ、テレビゲーム、ゲーム等の時間

※入学を機会にテレビやゲーム時間等、家庭でのルールを決めるようにしましょう。



## 視力について

0.9以下の人は、できるだけ眼科医に診てもらってください。検査に不慣れのため、正確な検査ができていない人もいます。眼科医を受診することで、近視、遠視、乱視、弱視、斜視などの目の異常が発見されることもあります。



## むし歯について

むし歯があった人は、必ず歯医者さんで診てもらってください。むし歯も病気の一つです。放置しておくとも悪くなるばかりです。乳歯のむし歯は、すぐ下にある永久歯に悪い影響を及ぼします。初期の内に治しましょう。5月の歯の検査で、1年生はむし歯ゼロになってほしいものです。

本校では、全校でフッ素洗口をしています。何か気になることがありましたらお知らせください。



## 口の中を見てあげてください。

朝、昼、夜のはみがき、特に夜のはみがきはていねいに。夜は仕上げみがきをしてあげてください。6歳臼歯といって、乳歯の一番奥に大人の歯が上下2本ずつ計4本生えてきます。すでに生えている人もいると思います。大人の歯の中で、一番早く生えるので、歯ブラシがとどきにくいこともあり、むし歯になりやすい歯ですので、特に気をつけなければならぬ歯です。



[検診に当たられました先生方は、内科が岡本先生、歯科が大黒先生です。]